

江南市の現況について

現状実態のとりまとめ

I. 地域構造

1. 江南市の人口構造の推移

江南市の人口構造は、2010年までゆるやかな増加を続けてきたが、生産年齢人口は2000年から既に減少に転じている。一方で、老年人口は増加の一途を辿っており、今後もこの傾向は続く見込みとなっている

2. 人口分布の状況

江南市の人口分布は、鉄道駅周辺・主要幹線道路周辺・江南団地により大きな人口集積がみられる。また、人口分布と鉄道、バス路線の関係をみると、エリア人口が1,600人以上の地域には公共交通機関がおおむね行き届いている状況にある。

3. 人口流動

平成12年度から平成22年度の変化をみると、通勤・通学ともに市内の人口流動が減少している。

平成22年度の通勤流動実態をみると、市内が最も多く18,286人を示す。また、流出は、名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町の順に多くなっており、後述(4-3 経済圏)の名古屋経済圏内への流出が多くを占めている。

平成22年度の通学流動実態をみると、市内が最も多く1,543人を示す。また、流出は、名古屋市、一宮市、扶桑町、北名古屋市、犬山市、小牧市の順に多くなっており、名古屋市の大学、私立高校への通学者が多い事がわかる。

4. 産業構造

江南市の事業所数は平成21年から平成26年までトレンドとしては減少傾向にある。

江南市の産業別就業者数はH26では多い順に「卸売業、小売業」、「製造業」、「医療、福祉」である。「医療、福祉」の就業者数が経年で増加している一方で、「卸売業、小売業」と「製造業」の就業者数は減少傾向にある。

5. パーソントリップ調査結果

江南市の場合、鉄道利用発生集中量、バス利用発生集中量ともに平成13年から平成23年の間に増加している。江南市の場合、鉄道よりもバスの方が、増加率が高い。

6. 地勢

江南市は扇状地となっており、標高は概ね 10~40m の範囲であり、北東から南西へ向かってなだらかに下っていく形状となっている。一般的に言って、起伏は少ない方である。

II. 交通インフラ

江南市は鉄道については名鉄犬山線を有し、2カ所の駅がある。バスについては名鉄バスと大口町コミュニティバスが市内に定期路線を有している。

鉄道駅（江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅）から半径 1 km およびバス停から半径 500m の範囲の人口集積状況は約 7 万 9 千人であり、総人口の約 79% を網羅している。

名鉄犬山線の布袋駅と江南駅の利用状況は、平成 16 年度以降ほぼ横ばいの微減となっている。平成 26 年度の江南駅の一日平均乗降人員は 25,731 人であり、平成 16 年度と比較して 3.6% 増加している。

内容

I. 地域構造	5
1. 江南市の人口構造の推移	5
1-1. 人口推移	5
1-2. 将来の人口見通し	5
2. 人口分布の状況	6
3. 人口流動	10
4. 産業構造	15
4-1. 産業構造	15
4-2. 産業別就業構造	16
4-3. 経済圏	17
5. 中京都市圏パーソントリップ調査結果	18
5-1. 中京都市圏総合都市交通体系調査の概要	18
5-2. 中京都市圏における1日の人の動き	19
5-4. 江南市の状況	21
6. 地勢	22
6-1. 地勢（高低差）	22
II. 交通インフラ	23
1. 交通網および人口カバー率の状況	23
1-1. 交通インフラおよび主要施設の分布	23
1-2. バス・鉄道の人口カバー率推計	24
2. 名鉄犬山線の状況	26
2-1. 乗降客数の推移（名古屋鉄道 名鉄犬山線）	26

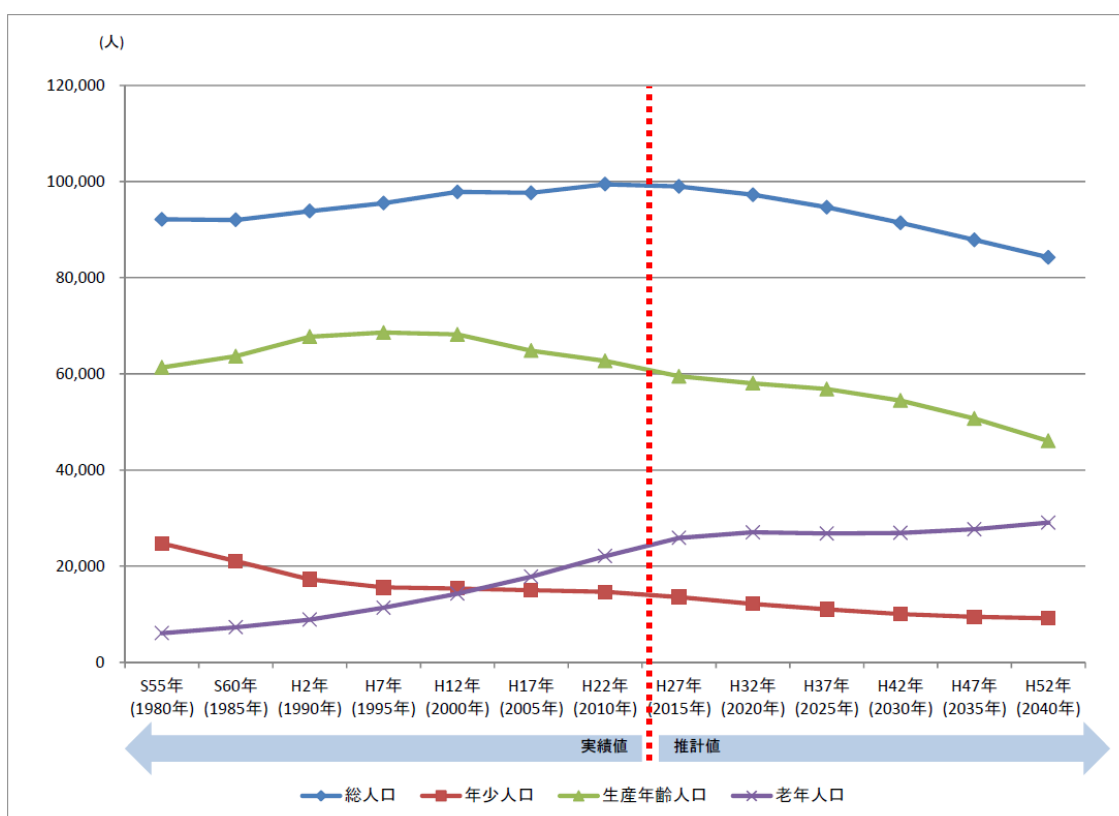
I. 地域構造

1. 江南市の人口構造の推移

江南市の人口構造は、2010年までゆるやかな増加を続けてきたが、生産年齢人口は2000年から既に減少に転じている。一方で、老年人口は増加の一途を辿っており、今後もこの傾向は続く見込みとなっている。

1-1. 人口

図表 江南市の人口の推移



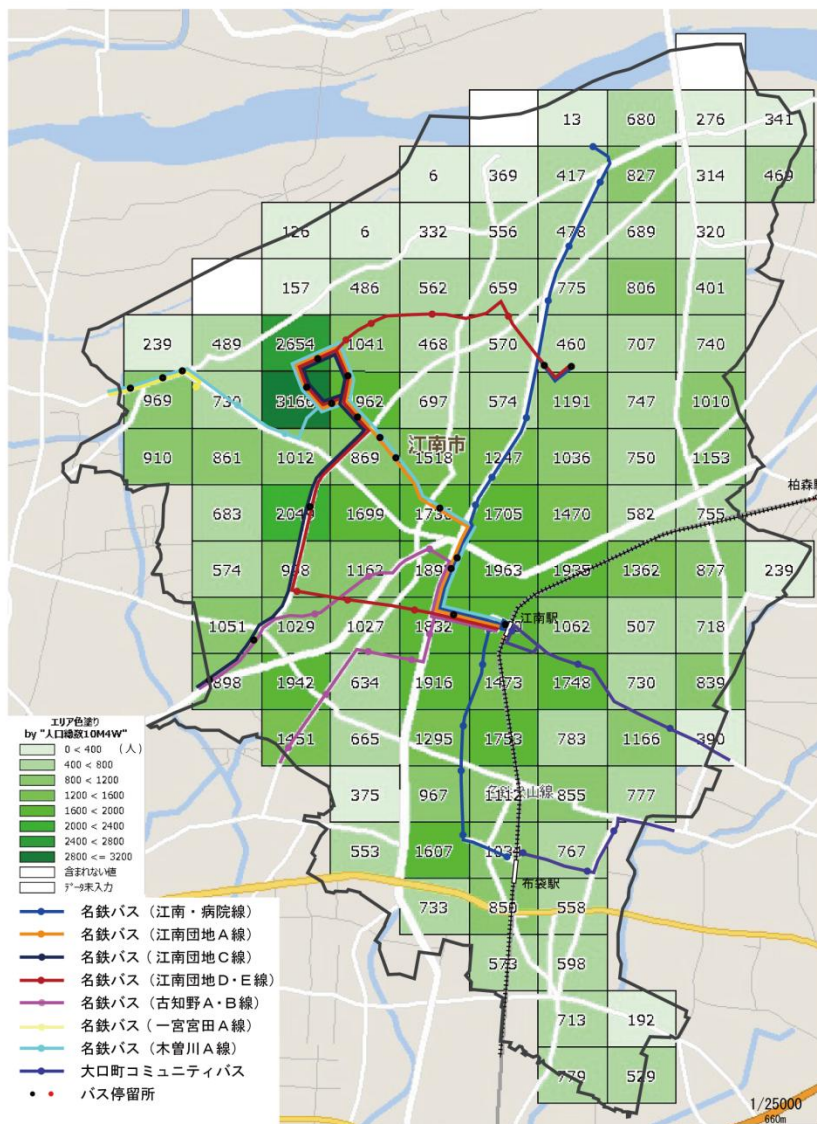
出典：江南市人口ビジョン

資料：実績値 国勢調査、推計値 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口（平成25年3月推計）」

2. 人口分布の状況

江南市の人口分布は、鉄道駅周辺・主要幹線道路周辺・江南団地により大きな人口集積がみられる。また、人口分布と鉄道、バス路線の関係をみると、エリア人口が 1,600 人以上の地域には公共交通機関がおおむね行き届いている状況にある。

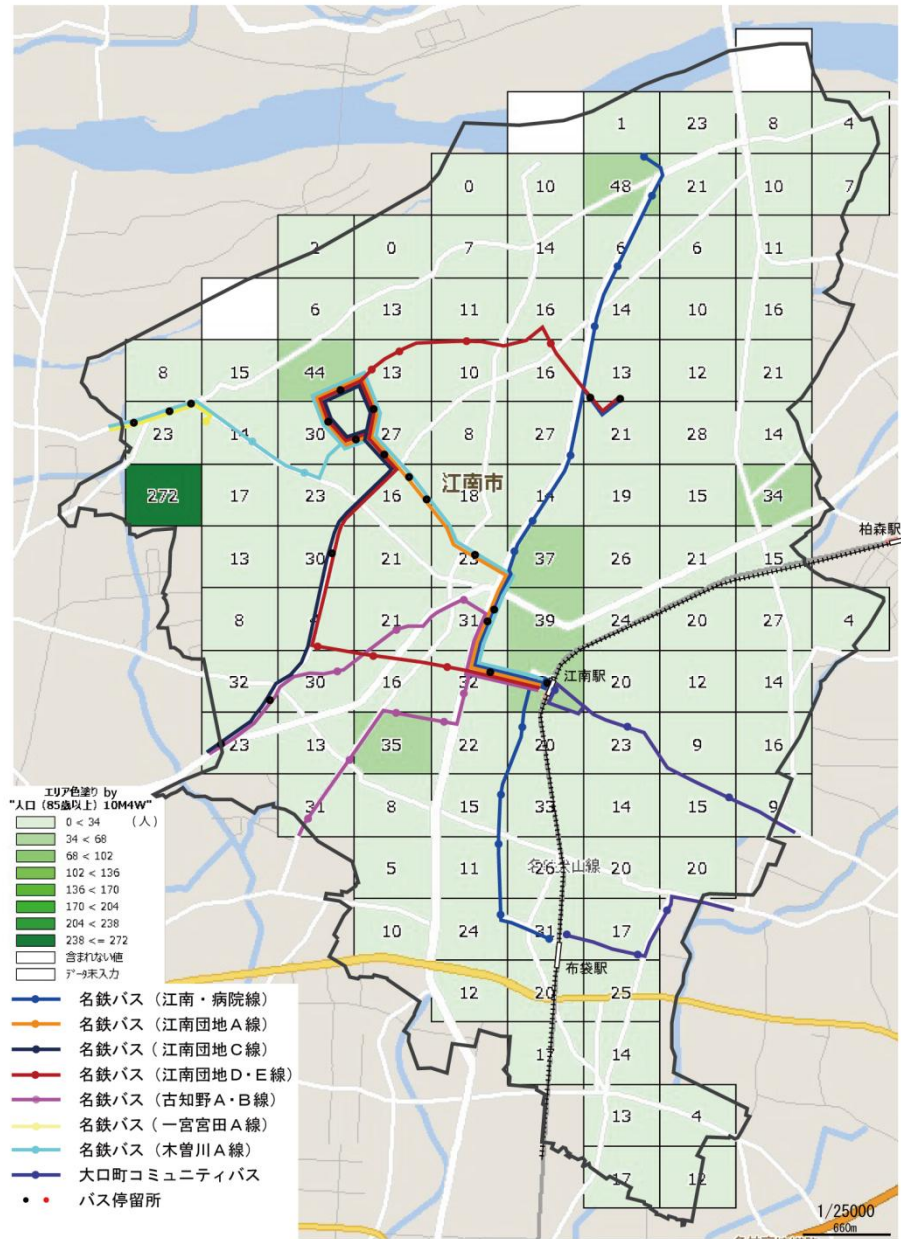
図表 人口分布（総人口）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

福祉タクシー（高齢者）の対象者である 85 歳以上の人口の分布が目立つのは主に、市の西端部、すいとびあ江南付近、江南団地、および市の中心部である。

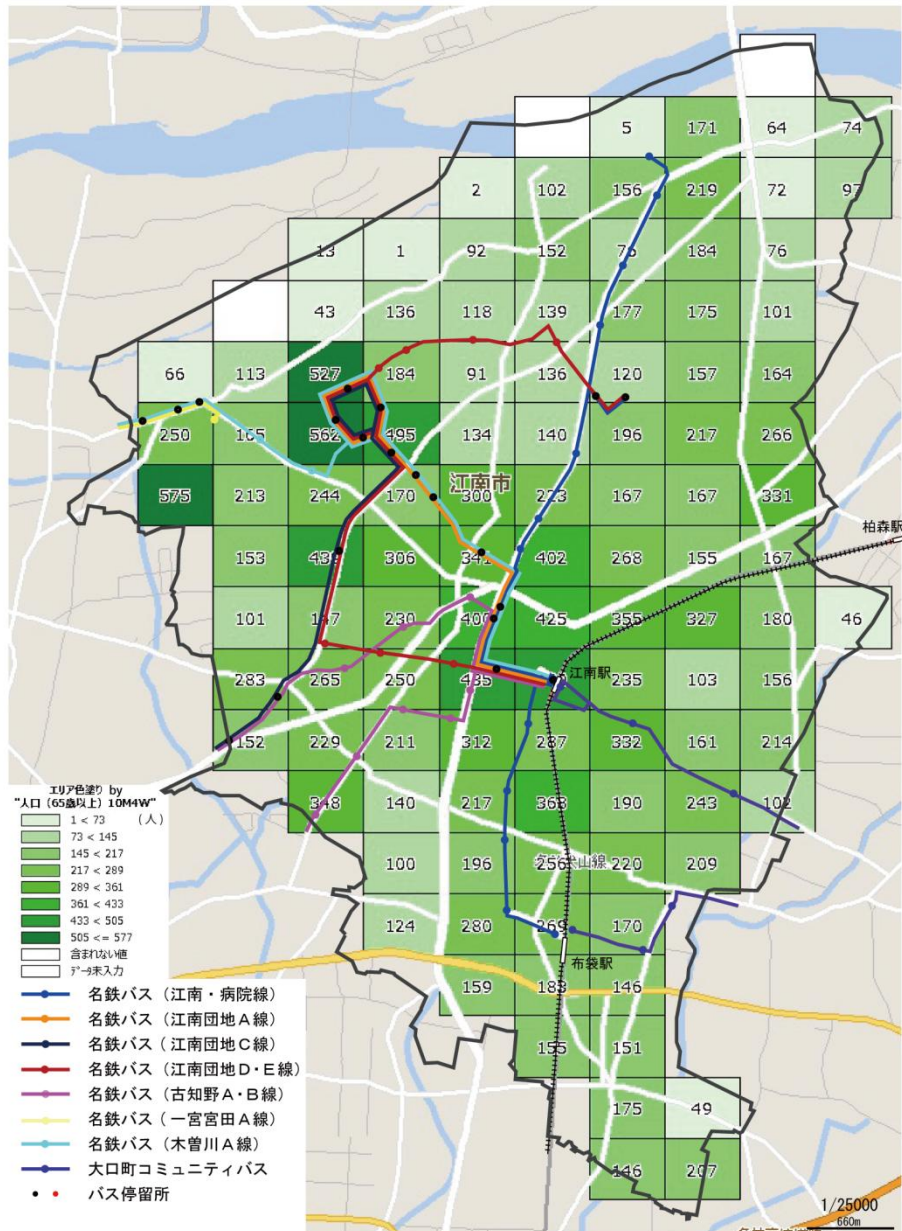
図表 人口分布（85 歳以上）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

65歳以上の人口の分布の傾向は、85歳以上と類似しているが、市内全域にわたってより広範に居住している。

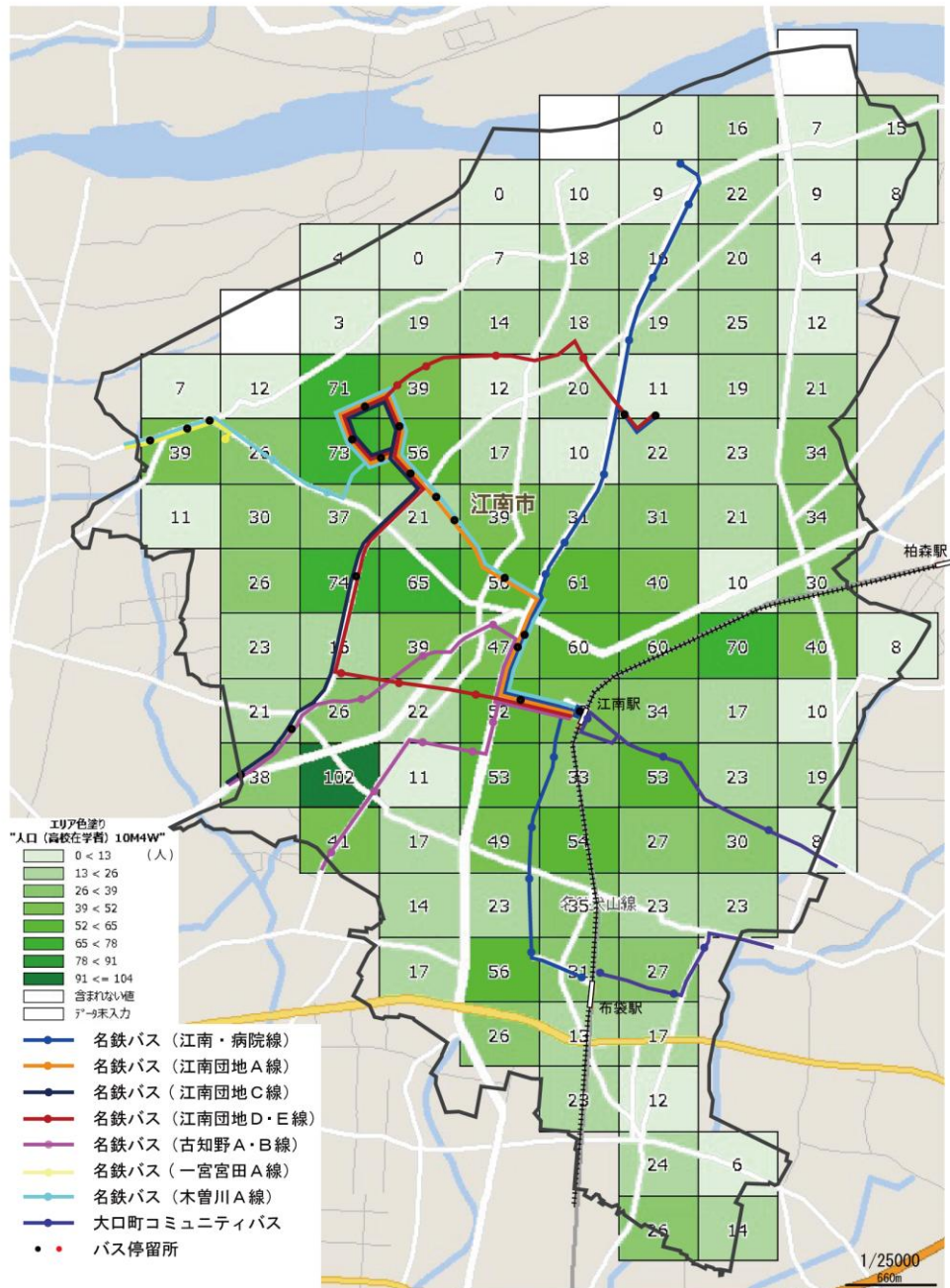
図表 人口分布（65歳以上）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

高校在学者の人口の分布は、比較的バス路線周辺に多くなっている。

図表 人口分布（高校在学者）



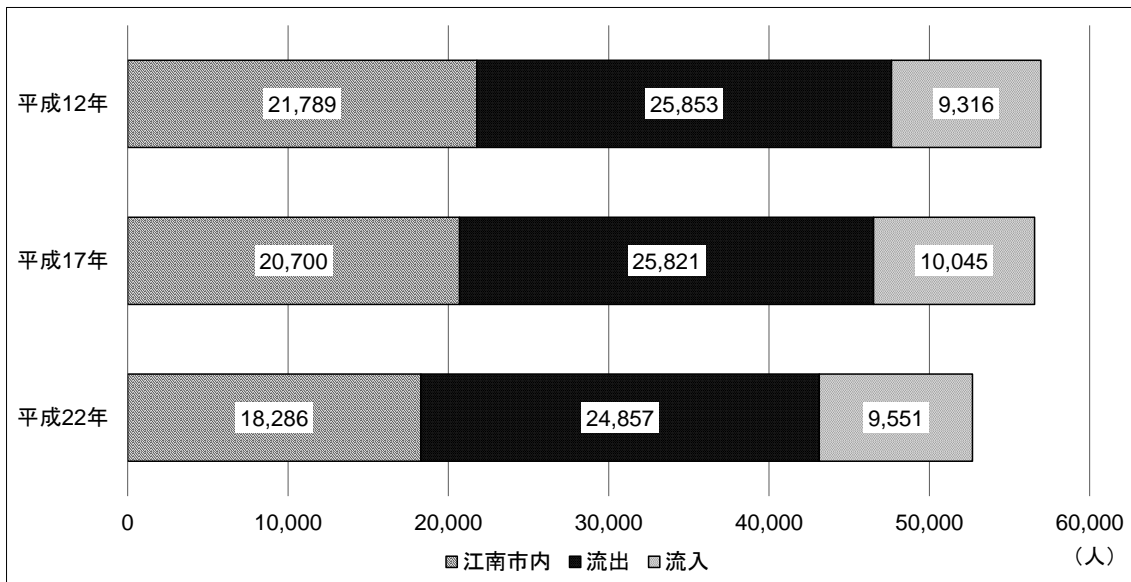
出典：国勢調査（平成22年度）に基づく4次メッシュ人口

3. 人口流動

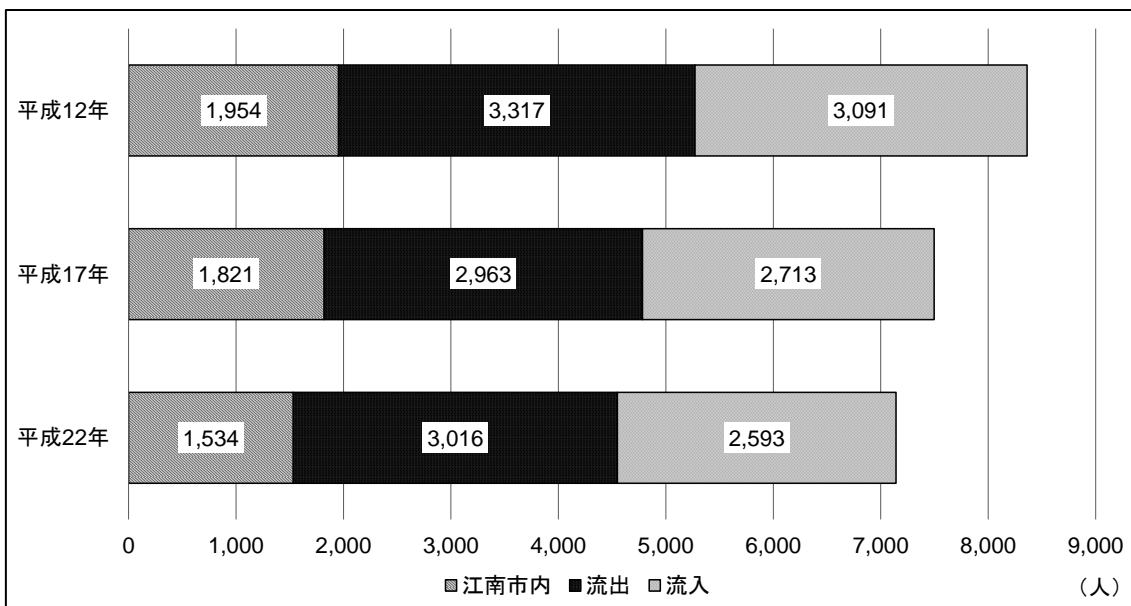
- ・ 平成 12 年度から平成 22 年度の変化をみると、通勤・通学ともに市内の人口流動が減少している。
- ・ 平成 22 年度の通勤流動実態をみると、市内が最も多く 18,286 人を示す。また、流出は、名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町の順に多くなっており、後述（4-3 経済圏）の名古屋経済圏内への流出が多くを占めている。
- ・ 平成 22 年度の通学流動実態をみると、市内が最も多く 1,543 人を示す。また、流出は、名古屋市、一宮市、扶桑町、北名古屋市、犬山市、小牧市の順に多くなっており、名古屋市の大学、私立高校への通学者が多い事がわかる。

図表 人口流動の経年変化（通勤・通学）

【通勤】



【通学】



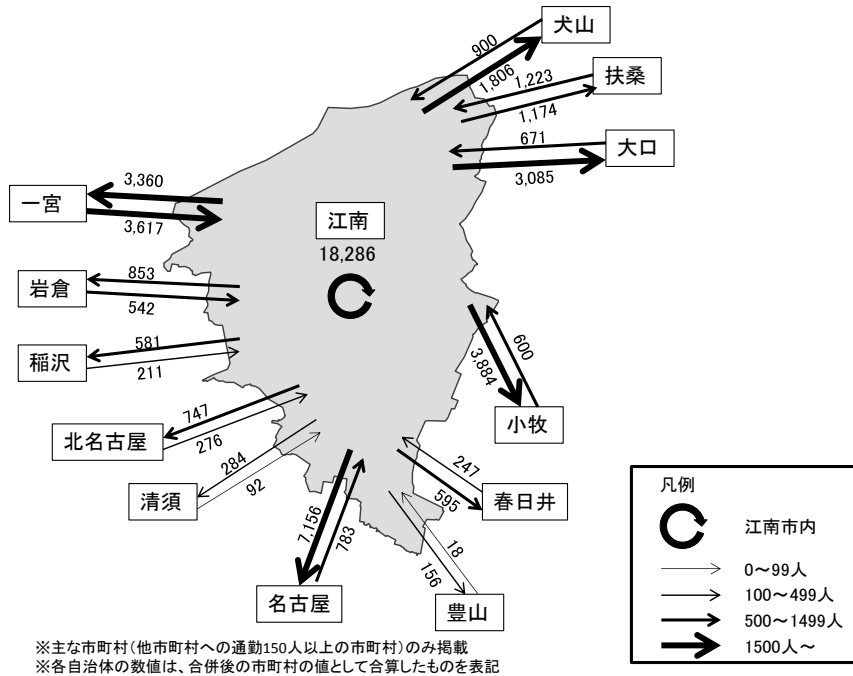
出典：国勢調査

※ここでいう「流出人口」は、国勢調査での従業地・通学地が愛知県内の他市町村であり、常住地が江南市である人口をいう。

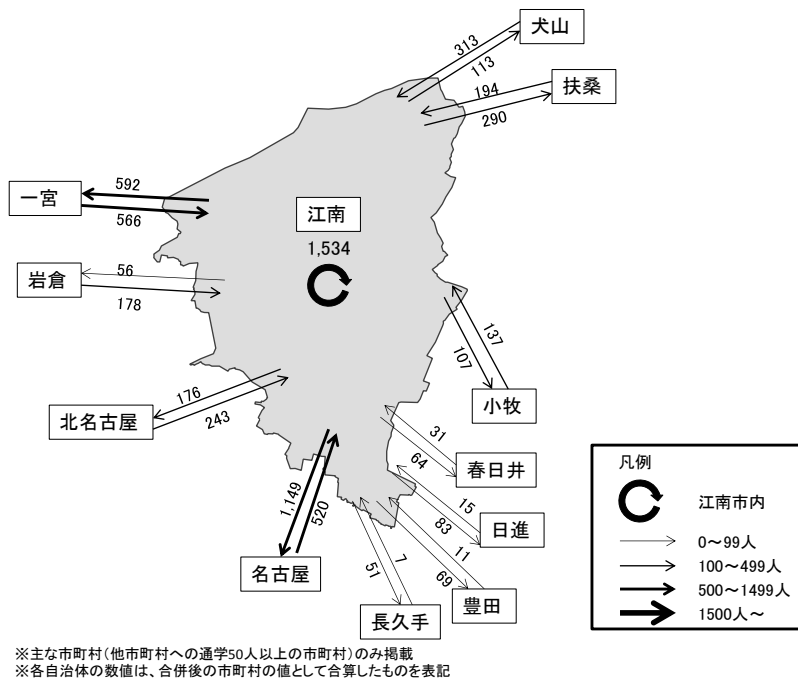
※ここでいう「流入人口」は、国勢調査での従業地・通学地が江南市の人口のうち、その常住地が愛知県内の他市町村にある人口をいう。

平成 22 年

図表 通勤流動実態（平成 22 年）



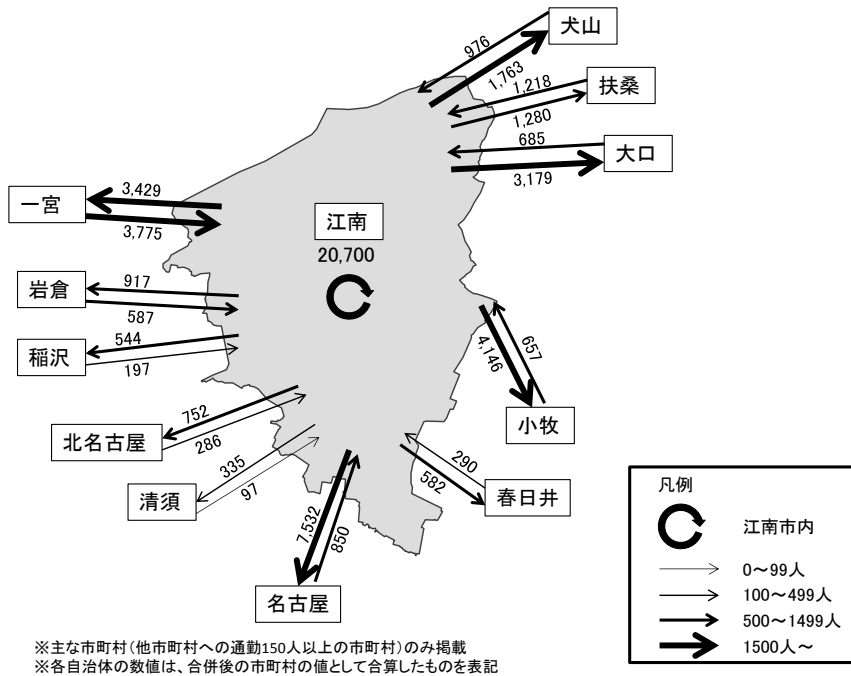
図表 通学流動実態（平成 22 年）



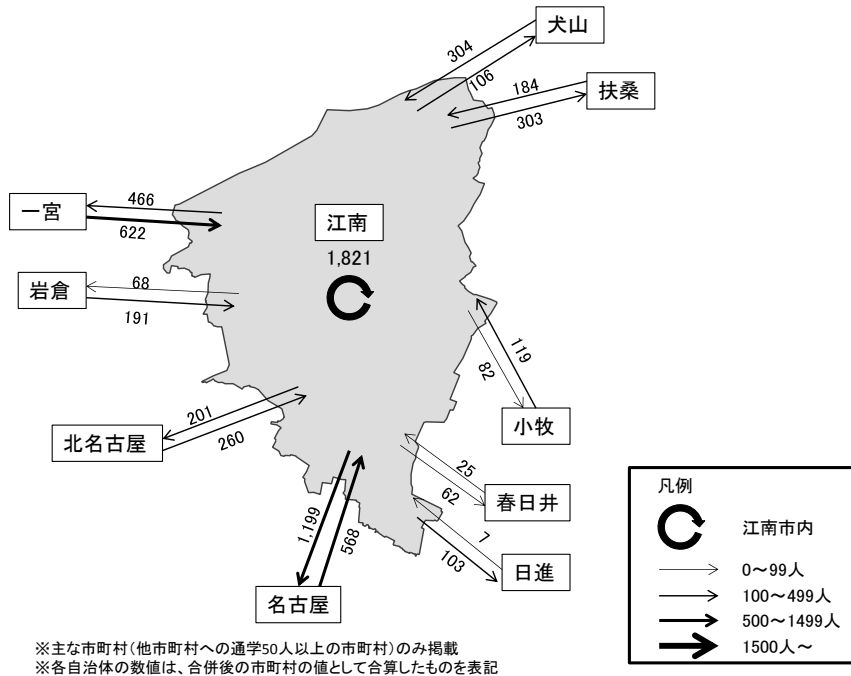
出典：平成 22 年国勢調査

平成 17 年

図表 通勤流動実態（平成 17 年）



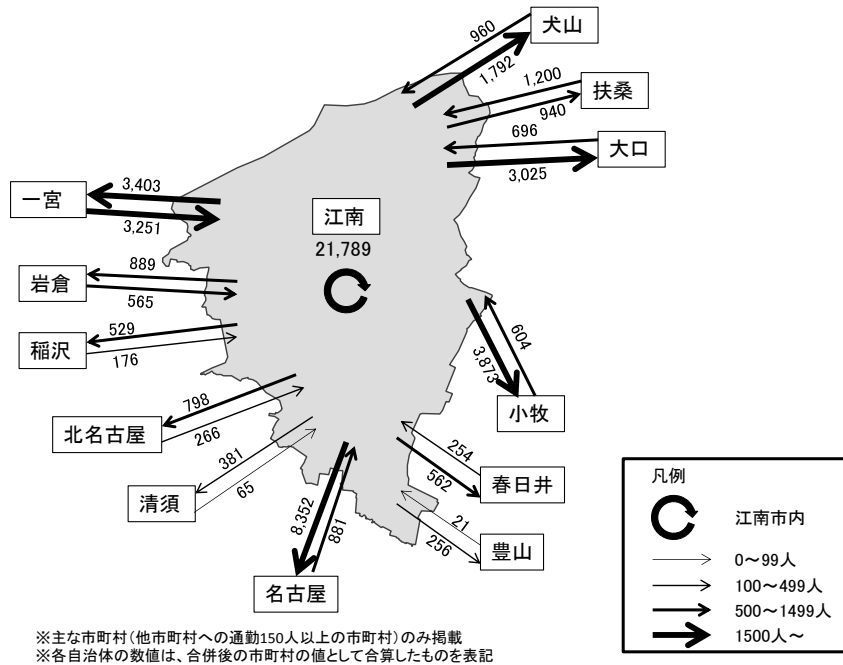
図表 通学流動実態（平成 17 年）



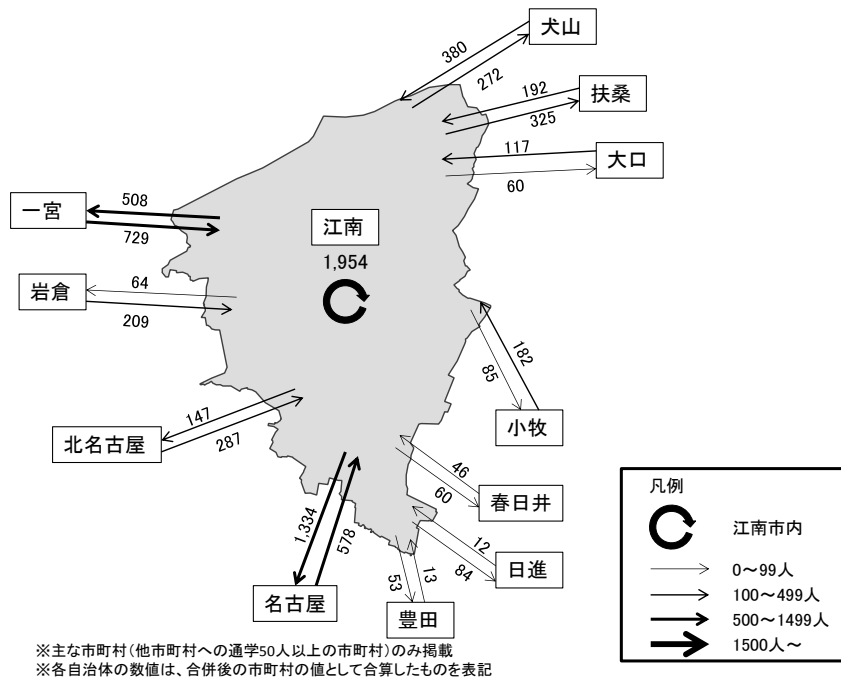
出典：平成 17 年国勢調査

平成 12 年

図表 通勤流動実態 (平成 12 年)



図表 通学流動実態 (平成 12 年)



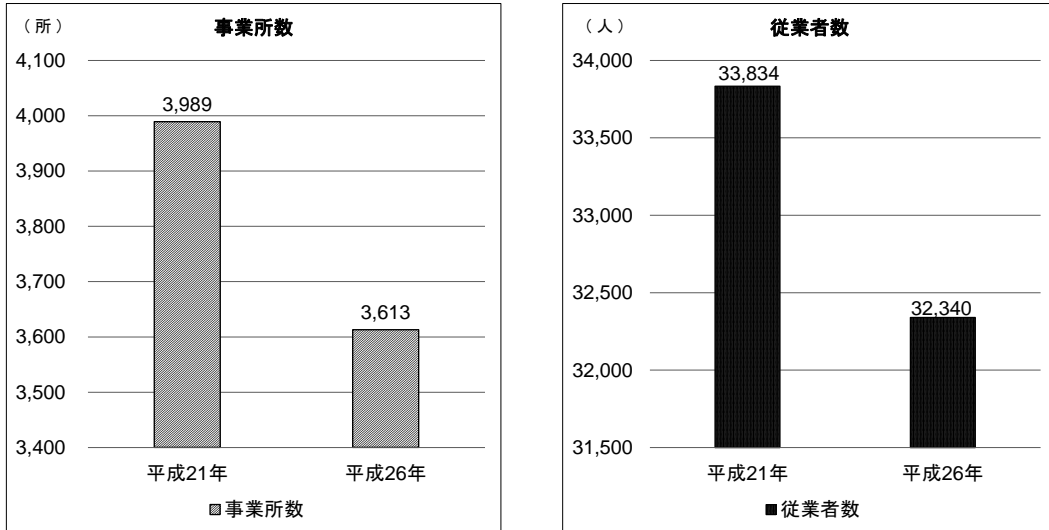
出典：平成 12 年国勢調査

4. 産業構造

4-1. 産業構造

- ・ 江南市の事業所数は平成 21 年から平成 26 年までトレンドとしては減少傾向にある。
- ・ 平成 21 年と平成 26 年を比べると、1 事業所あたりの平均従業者数は増加傾向にある。

図表 事業所数・従業者数の推移



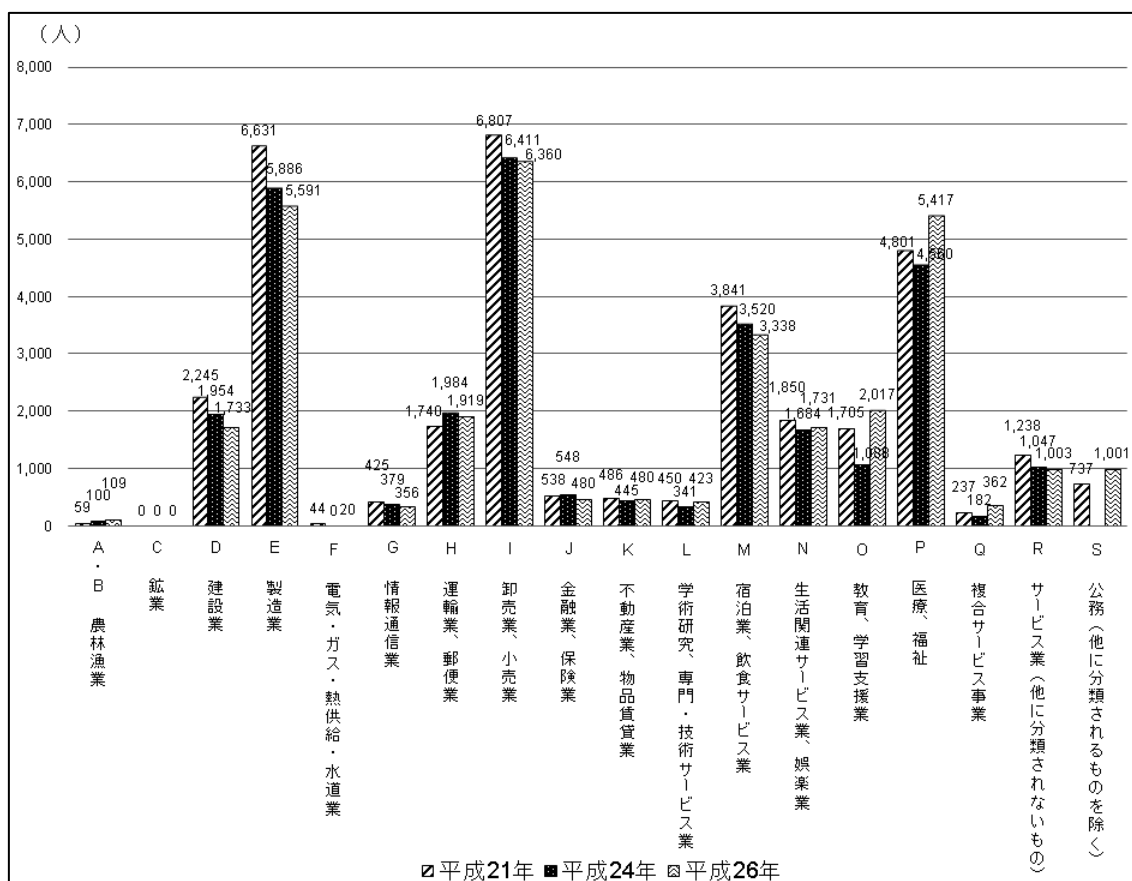
	平成21年	平成26年
事業所数(所)	3,989	3,613
従業者数(人)	33,834	32,340
1事業所当たり従業者数 (人/所)	8.5	9.0

出典：経済センサス-基礎調査（平成 21 年、平成 26 年）

4-2. 産業別就業構造

江南市の産業別就業者数はH26では多い順に「卸売業、小売業」、「製造業」、「医療、福祉」である。「医療、福祉」の就業者数が経年で増加している一方で、「卸売業、小売業」と「製造業」の就業者数は減少傾向にある。

図表 産業大分類別の就業者数の推移



出所：こうなんの統計

出典：経済センサス-基礎調査（平成21年、平成26年）

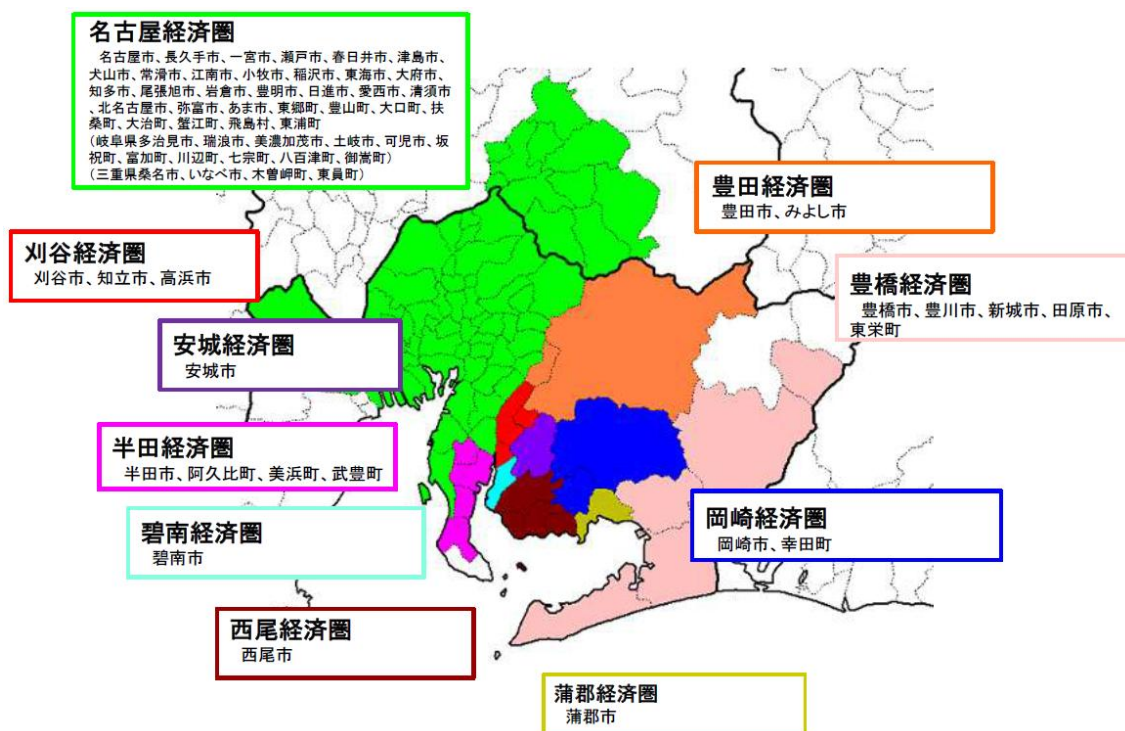
経済センサス-活動調査（平成24年）

※ 平成24年経済センサス-活動調査においては、産業大分類の「S公務」が計上されていない。

4-3. 経済圏

愛知県内は 10 の経済圏に区分される。

その中で江南市は名古屋経済圏に区分される。



出所：経済産業省「愛知県の地域経済分析」

※ 「日本の都市雇用圏設定基準」(金本良嗣・徳岡一幸『応用地域学研究』No.7, 1-15, 2002) による。

5. 中京都市圏パーソントリップ調査結果

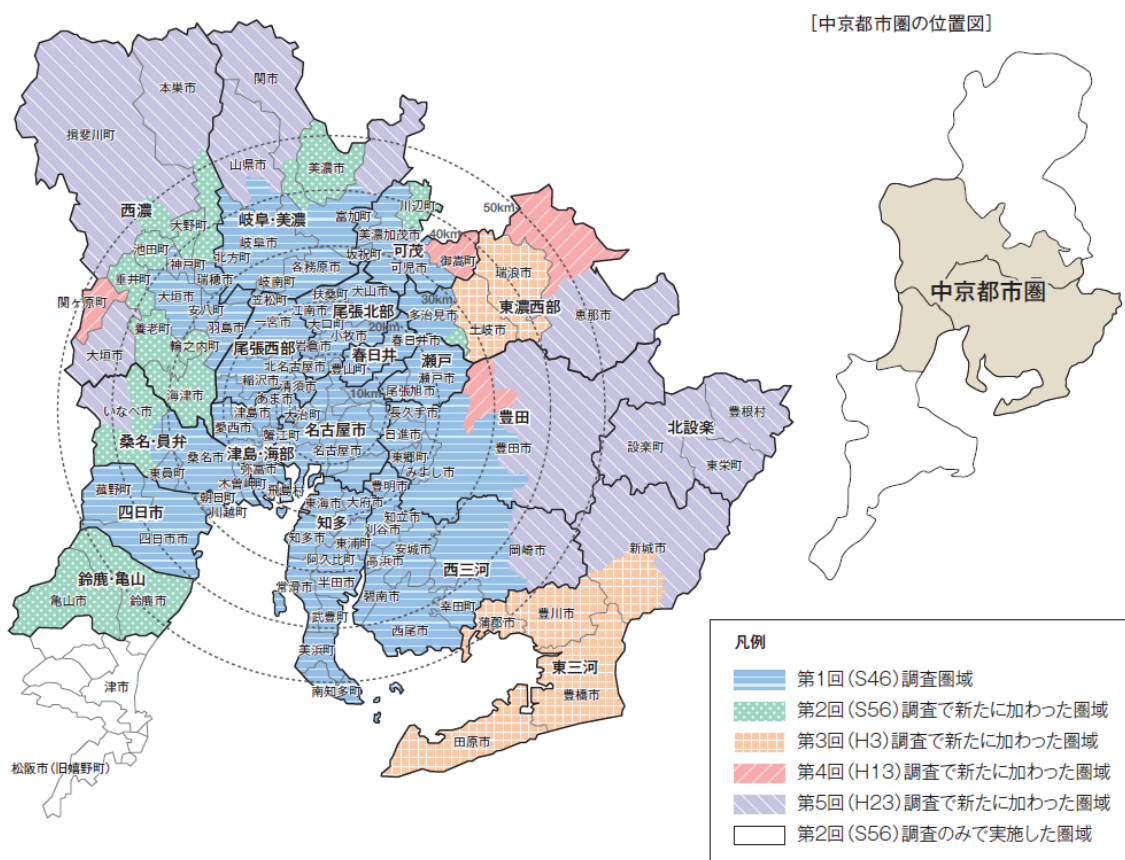
「第5回中京都市圏パーソントリップ実態調査結果の概要」より抜粋・整理した。

5-1. 中京都市圏総合都市交通体系調査の概要

- ・パーソントリップ調査（パーソン＝人、トリップ＝移動）とは、1日の移動について、「年齢などの個人属性」「出発地・目的地」「移動目的」「移動時刻」「交通手段」などを調査し、人の1日のすべての移動量を捉えるもの。
- ・中京都市圏パーソントリップ調査では、昭和46年以降10年毎に実施しており、今回調査は5回目の調査を平成23年に実施。
- ・パーソントリップ調査は都市圏の人の移動を総合的に把握する唯一の調査であり、交通だけでなく、防災、環境分野など様々な分野に活用されている。

※中京都市圏総合都市交通計画協議会「パーソントリップ調査からみる中京都市圏における人の動き（概要版・本編）」及び「第5回中京都市圏パーソントリップ調査結果の概要」より抜粋・一部要約。

図 調査圏域（対象圏域：愛知県、岐阜県南部、三重県北部の96市町村）

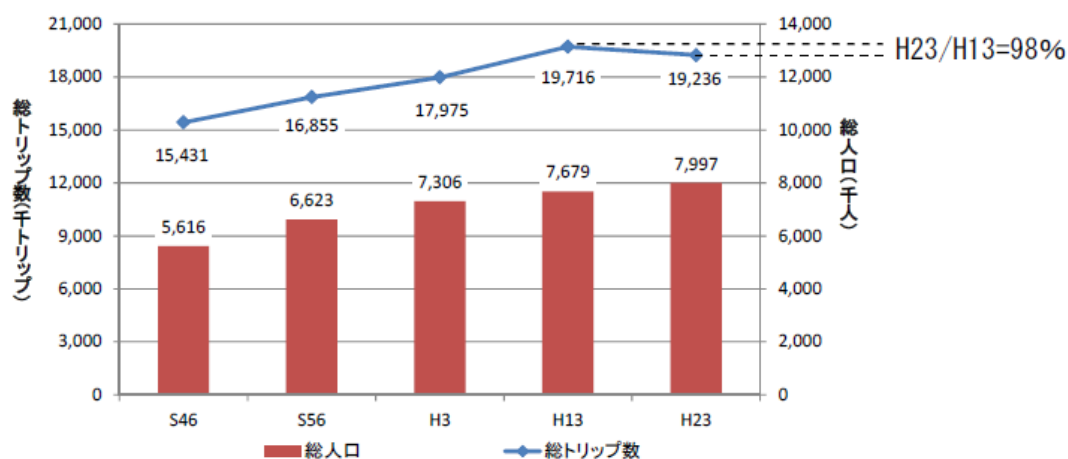


5-2. 中京都市圏における1日の人の動き

・13年までは、人口の増加に伴って、総トリップ数は増加し続けていたが、23年の集計結果で初めて総トリップ数が減少。減少した要因として、少子・高齢化や情報化の進展などにより、外出機会や一人当たりのトリップ数が減少していることが想定される。

図 第5回調査の規模と総トリップ数の推移

対象市町村数	岐阜県南部	16市16町
	愛知県全域	37市15町2村 (名古屋市を含む)
	三重県北勢地域	5市5町
	中京都市圏	58市36町2村
対象面積	10,463km ²	
総人口	9,999千人	
5歳以上人口	9,485千人	



都市圏人口(5歳以上)及び総トリップ数の推移 【第1回調査圏域での推移】

注：このグラフで示す総人口は中京都市圏内に居住する5歳以上人口

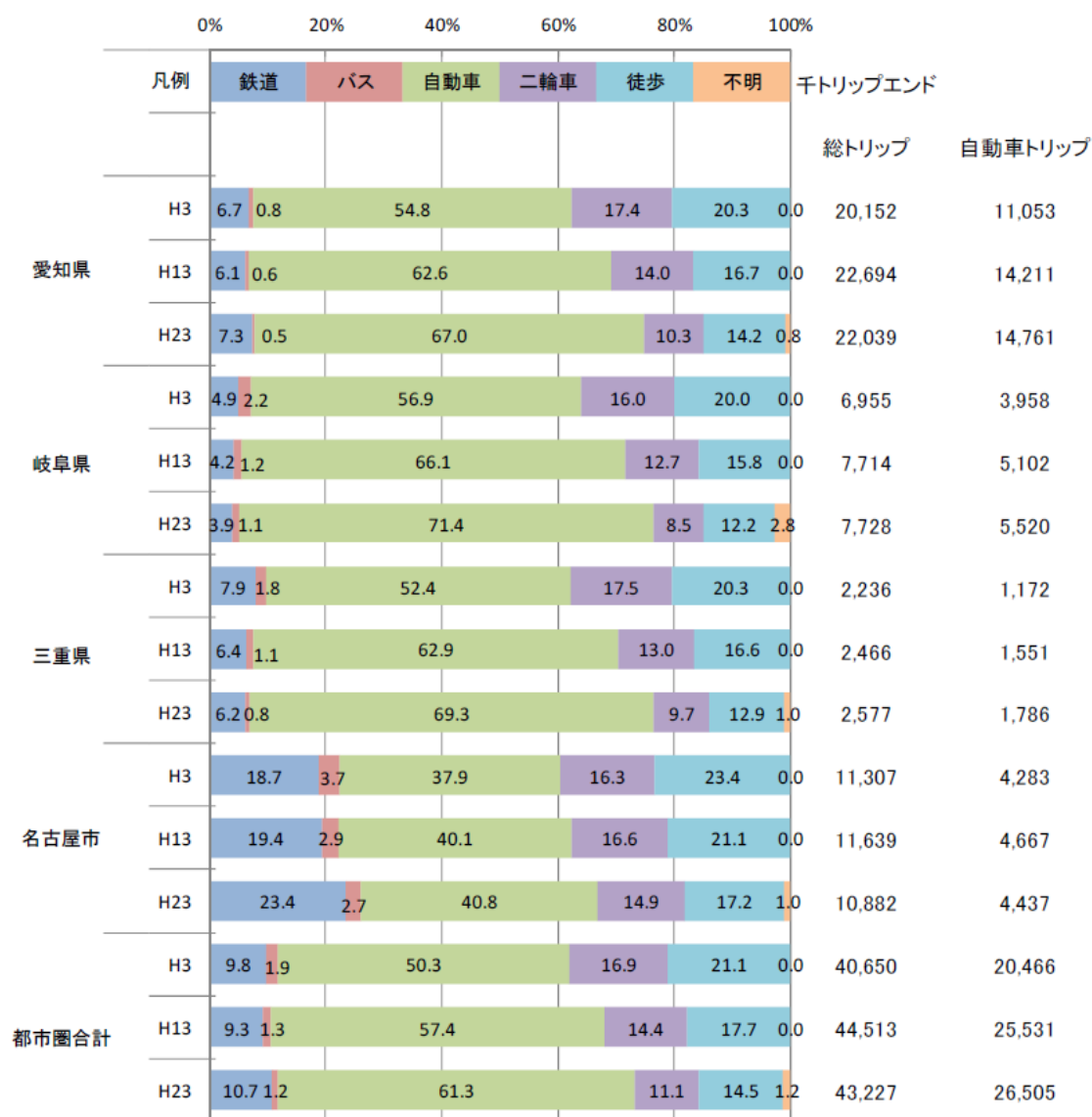
人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」に移動するときの1回の動きをトリップといいます。移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。



5-3. 機関分担の状況

- 交通手段の内訳の推移としては、愛知県（名古屋市除く）では自動車の分担が増加している。鉄道、バスについてはあまり変化がない。
- 愛知県（名古屋市除く）の方が、名古屋市よりも自動車の分担の経年増加率が大きく、より自動車への依存度が高まっている。

図表 3 県1市別交通手段別発生集中量の現状

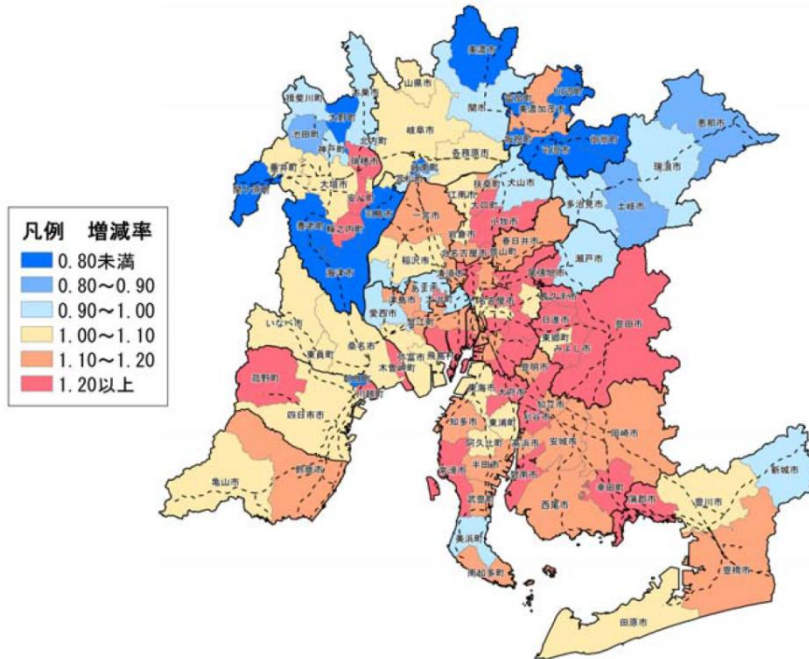


※ 「愛知県」には「名古屋市」を含まない

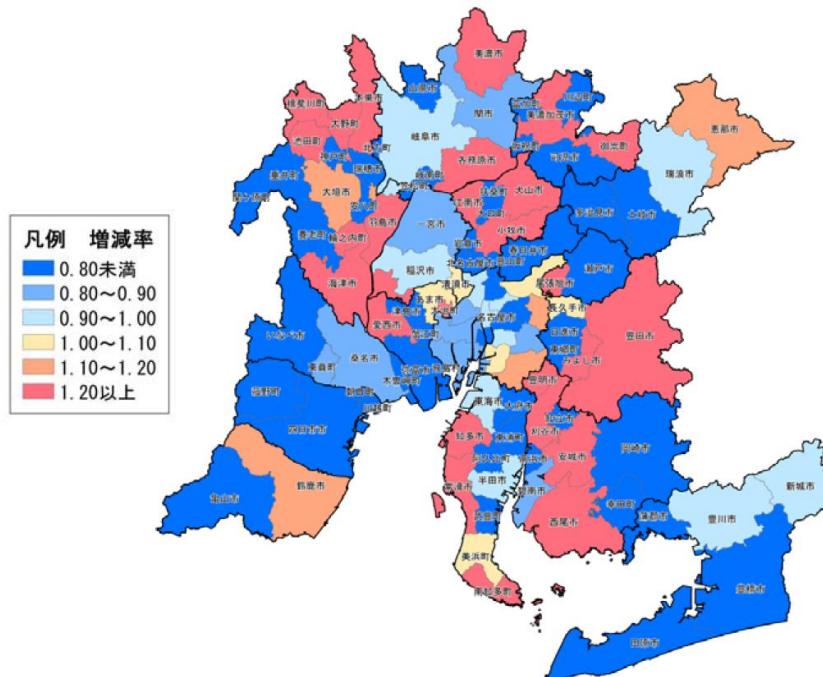
5-4. 江南市の状況

- ・ 江南市の場合、鉄道利用発生集中量、バス利用発生集中量ともに平成13年から平成23年の間に増加。（参考：名鉄バスは平成20年4月1日に江南・病院線を新設した。）
- ・ 江南市の場合、鉄道よりもバスの方が、増加率が高い。

図表 中京都市圏全体の市町村別に見た鉄道・バス利用の発生集中量の増減率



市町村別鉄道利用発生集中量の増減率（H23/H13） 【第4回調査圏域での推移】

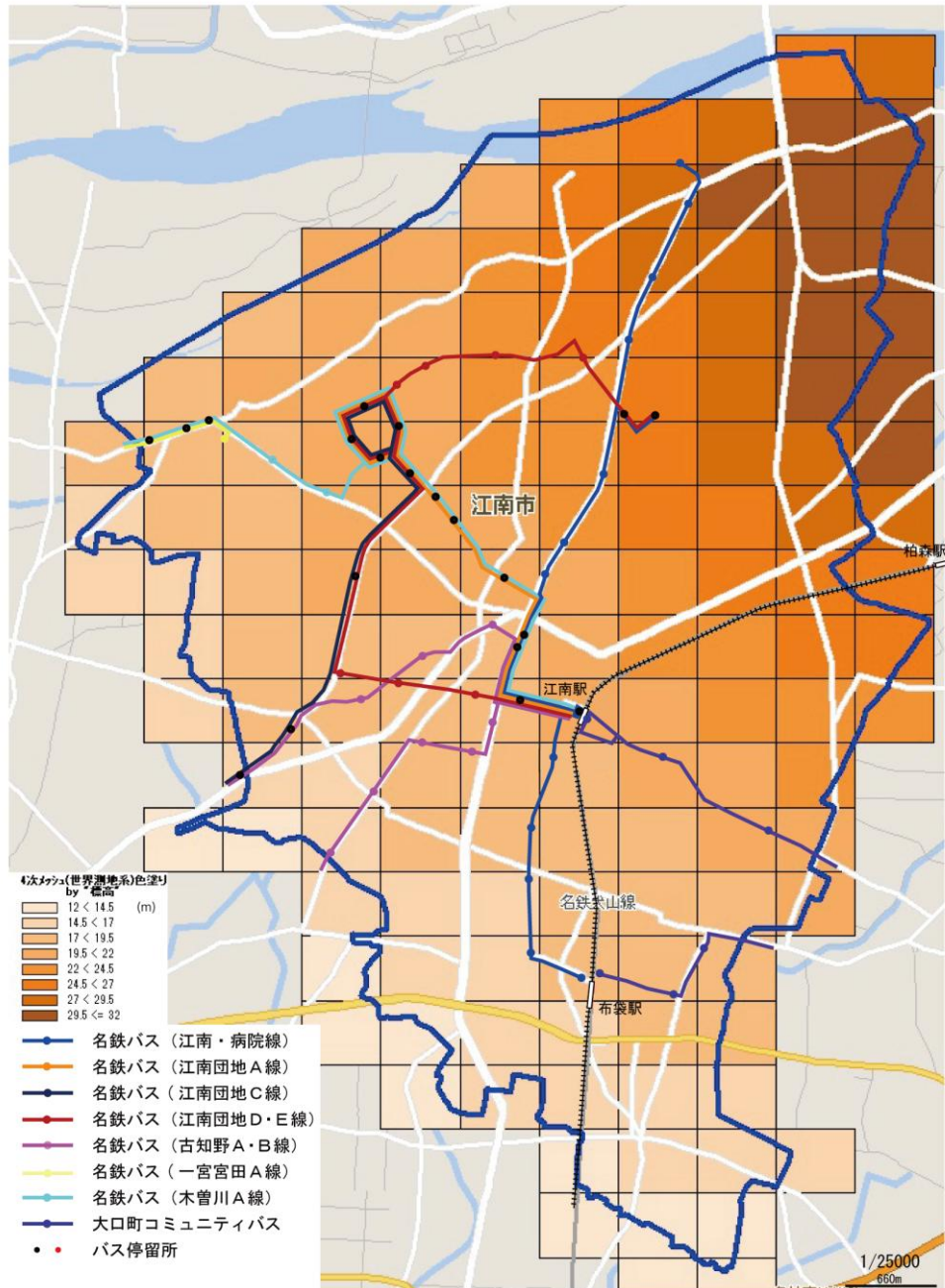


市町村別バス利用発生集中量の増減率（H23/H13） 【第4回調査圏域での推移】

6. 地勢

6-1. 地勢 (高低差)

江南市は扇状地となっており、標高は概ね 10~40m の範囲であり、北東から南西へ向かってなだらかに下っていく形状となっている。一般的に言って、起伏は少ない方である。



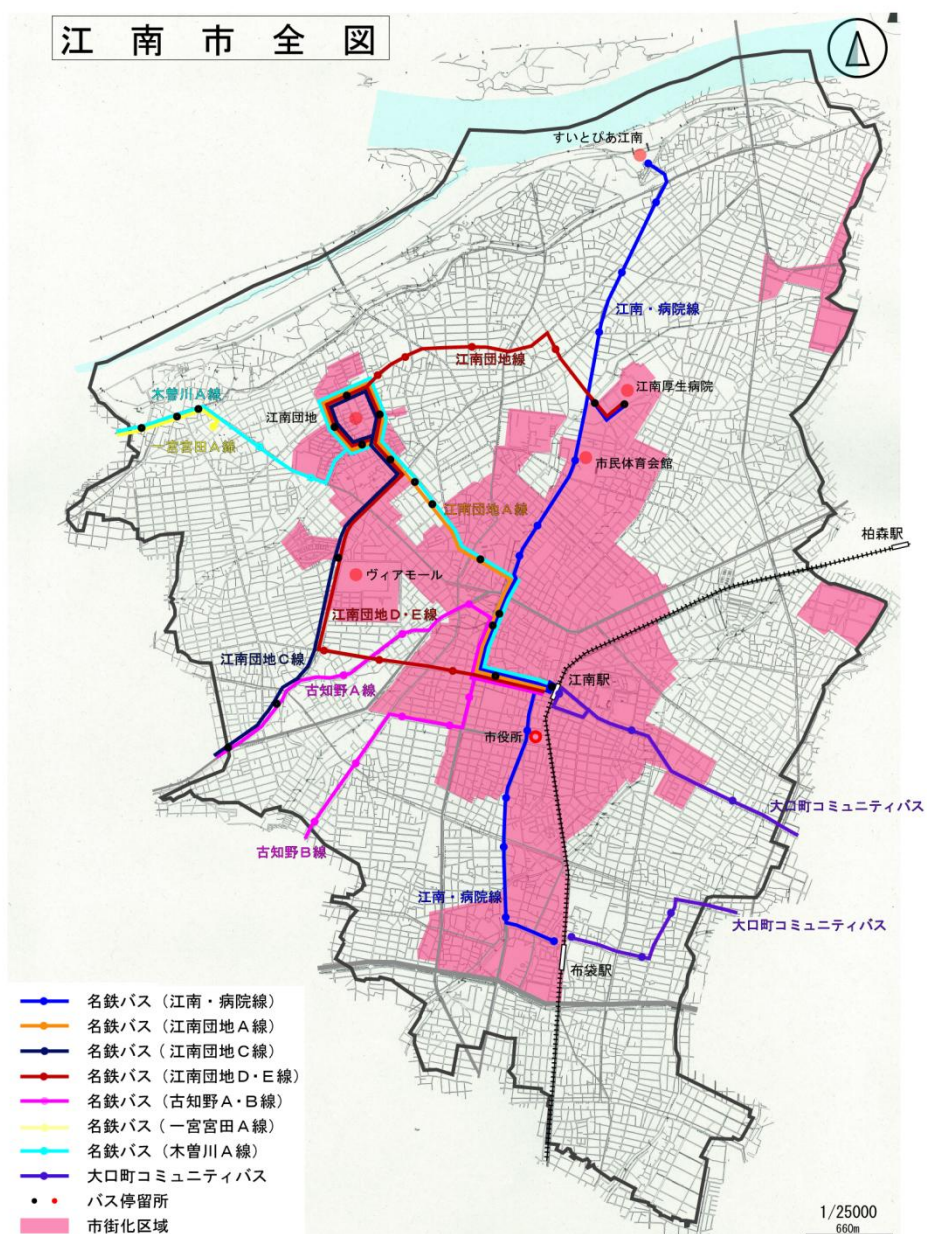
Ⅱ. 交通インフラ

1. 交通網および人口カバー率の状況

1-1. 交通インフラおよび主要施設の分布

江南市は鉄道については名鉄犬山線を有し、2カ所の駅がある。バスについては名鉄バスと大口町コミュニティバスが市内に定期路線を有している。

図表 江南市の市街化区域



1-2. バス・鉄道の人口カバー率推計

- ・ 鉄道駅（江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅）から半径 1 km およびバス停から半径 500 m の範囲の人口集積状況は約 7 万 9 千人であり、総人口の約 79% を網羅している。

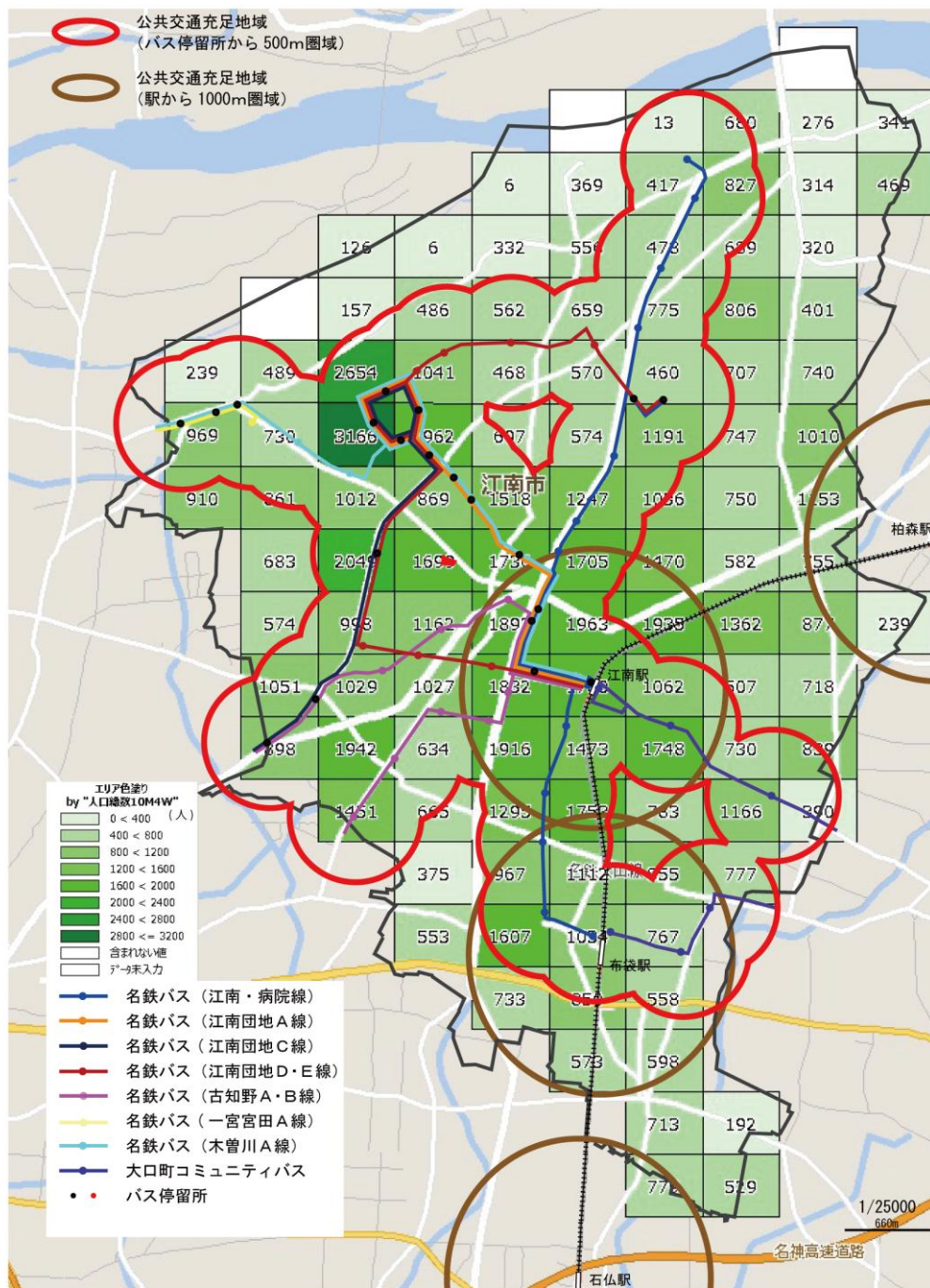
図表 公共交通機関カバーエリアの人口及びカバー率の推計

推計パターン		公共交通機関 カバーエリア 人口（※1）	全人口に対す るカバー率 （※2）
①	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 300m の場合	61,628 人	61.8%
②	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 500m の場合	78,531 人	78.7%
③	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 1 km の場合	93,092 人	93.3%

※1 円が江南市域をはみ出す部分に関しては、4 次メッシュ毎に按分・除外してある。

※2 母数の江南市人口には平成 22 年国勢調査時の 99,726 人を採用している。

図表 公共交通の影響範囲



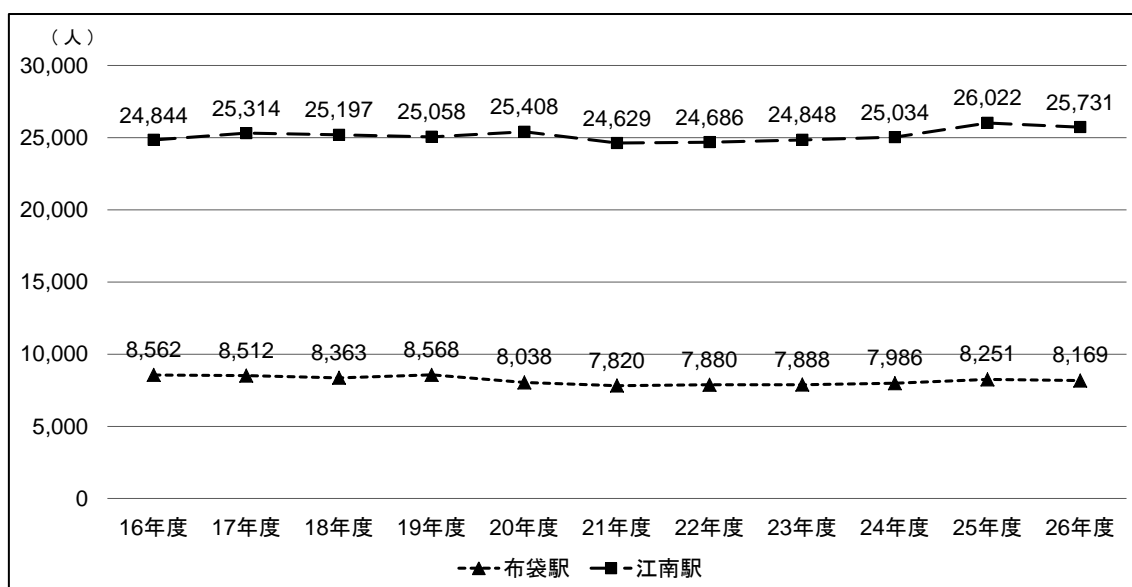
2. 名鉄犬山線の状況

2-1. 乗降客数の推移（名古屋鉄道 名鉄犬山線）

- ・ 名鉄犬山線の布袋駅と江南駅の利用状況は、平成16年度以降ほぼ横ばいの微減となっている。
- ・ 平成26年度の江南駅の一日平均乗降人員は25,731人であり、平成16年度と比較して3.6%増加している。

図表 駅別一日平均乗降人員の推移（布袋駅および江南駅）

駅名 (単位: 人/日)	平成16 年度	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	前年比	平成16 年度比
布袋駅	8,562	8,512	8,363	8,568	8,038	7,820	7,880	7,888	7,986	8,251	8,169	-1.0%	-4.6%
江南駅	24,844	25,314	25,197	25,058	25,408	24,629	24,686	24,848	25,034	26,022	25,731	-1.1%	3.6%



資料：名古屋鉄道(株)

■主要施設における公共交通の利用実態について

1. 江南市民がよく利用する施設

「江南市公共交通に関するアンケート調査」（平成 25 年）における市民がよく利用する施設としては、表 1 のとおり。

表 1 アンケート調査における市民がよく利用する施設（上位）

機能	公共施設	商業施設	病院
利用の多い施設	図書館 22	アピタ・ヴィアモール 280	江南厚生病院 307
	市民文化会館 10	ピアゴ江南店（厚生病院側） 77	平成クリニック 16
	市民体育会館 5	イオン（扶桑店） 77	・・・
	すいとびあ江南 4	㈱平和堂 42	（老人福祉センター） 8

※自由回答による集計のため、適切な名称が記述されない場合があり、集計値には誤差が含まれる。

2. 主な施設でのバス停設置状況とその利用割合

施設名称 (停留所名称)	年間利用者数	バス停利用者数 ※1	バス利用割合
図書館	95,770 人 (H27) (262.4 人/日)	バス停なし	— (ほぼ0%)
市民文化会館	217,805 人 (H27) (596.7 人/日)	バス停なし	— (ほぼ0%)
市民体育会館 (市民体育会館停留所) 市民体育会館 市営グラウンド 市営テニスコート	231,574 人 (H27) (634.4 人/日) 195,097 人 29,299 人 7,178 人	江南病院線 乗車：516 人/月 (16.6 人/日) 降車：640 人/月 (20.6 人/日)	3.2% (降車数÷利用者数)
すいとびあ江南 (すいとびあ江南停留所)	149,339 人 (H27) (409.1 人/日)	江南病院線 乗車：257 人/月 (8.3 人/日) 降車：316 人/月 (10.2 人/日)	2.5% (降車数÷利用者数)
アピタ・ヴィアモール (ヴィアモール前停留所)	約 3,050,000 人 (8,356 人/日) ※2	江南団地線 乗車：2,077 人/月 (67.0 人/日) 降車：2,441 人/月 (78.7 人/日)	0.94% (降車数÷来場者数)
ヴィアモールによる調査 ※3		自動車 自転車 その他(徒歩・公共交通等)	85% 11% 4%
ピアゴ江南店 (高屋大松原停留所)	約 940,000 人 (2,575 人/日) ※2	江南病院線+江南団地線 乗車：421+28 人/月 (14.5 人/日) 降車：601+51 人/月 (21.0 人/日)	0.82% (降車数÷来場者数)
ピアゴ江南店による調査 ※3		自動車 自転車 その他(徒歩・公共交通等)	80% 15% 5%
江南厚生病院 (江南厚生病院停留所) 外来延べ患者数(年間) ※4 職員数 ※5	2,624 人/日 (1,125 人/日+1,499 人) 410,758 人 (H26) 1,499 人 (H26)	江南病院線+江南団地線 乗車：4,375+253 人/月 (149.3 人/日) 降車：4,469+427 人/月 (157.9 人/日)	6.0% (降車数÷(外来患者数+職員数))
江南厚生病院による外来患者調査 ※6	外来回収数 765 サンプル	バス タクシー	5.6% 5.4%

※1 路線バスの利用者数(バス停留所利用者)＝平成28年3月時1か月間

※2 直営レジ通過者数

※3 各店舗独自調査(企業ヒアリングによる)

※4 外来延べ患者数＝JA 愛知厚生連江南厚生病院「診療データ 臨床指標①」より

※5 職員数＝JA 愛知厚生連江南厚生病院 病院年報(平成26年度)より

※6 外来患者調査＝平成27年度「外来患者アンケート集計報告」(平成28年2月 JA 愛知厚生連江南厚生病院)より

図書館・市民文化会館にはバス停留所がないため、バス利用率はほぼ0%と想定される。

商業施設については、来場者数に対する最寄停留所の利用割合で1%未満、各施設の調査でも数%程度。

江南厚生病院では、バス利用者数からの推計では6%で、外来患者調査ではバス利用率5.6%、タクシー利用率5.4%であった。患者だけでなく入院者の見舞客等を考えても、公共交通は1割を満たない程度の利用と想定される。

福祉タクシー・ 大口町コミュニティバスの 利用状況

1. 福祉タクシー利用状況

1-1. 福祉タクシー料金助成(高齢者・障害者)

助成内容

小型・中型タクシー基本料金相当額のチケットを年間 48 枚配布

対象者

高齢者福祉タクシー助成…85 歳以上の方

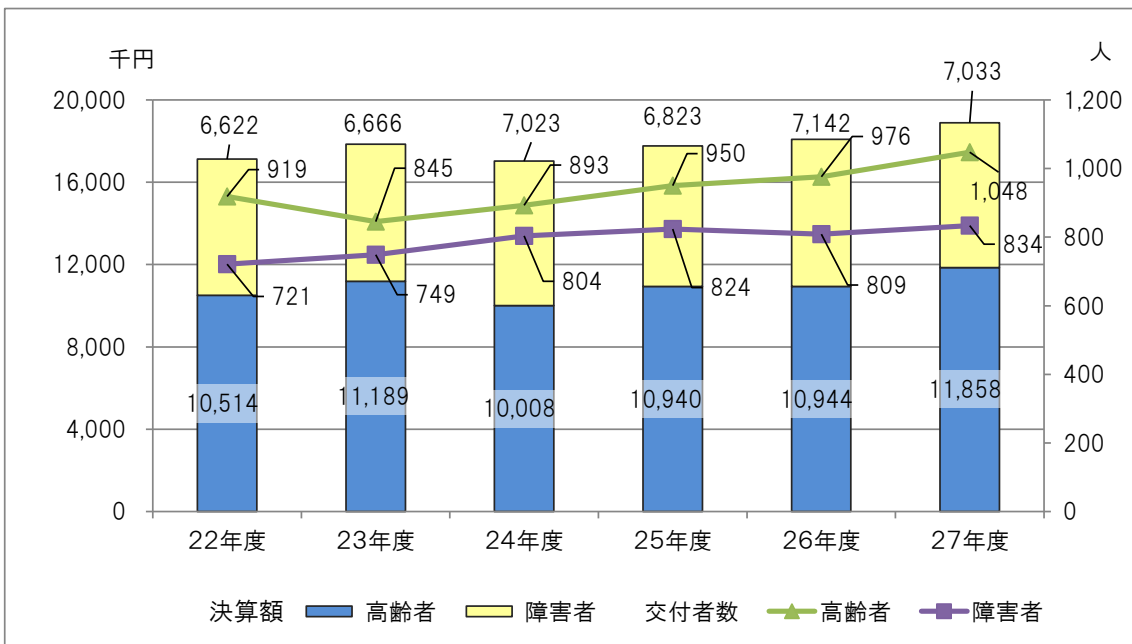
障害者福祉タクシー助成…障害者手帳等をお持ちの方で決められた要件を満たす方

その他

いこまい CAR 登録と選択制(いこまい CAR か福祉タクシー助成どちらか一方のみの利用)

1-2. 福祉タクシー経費の状況

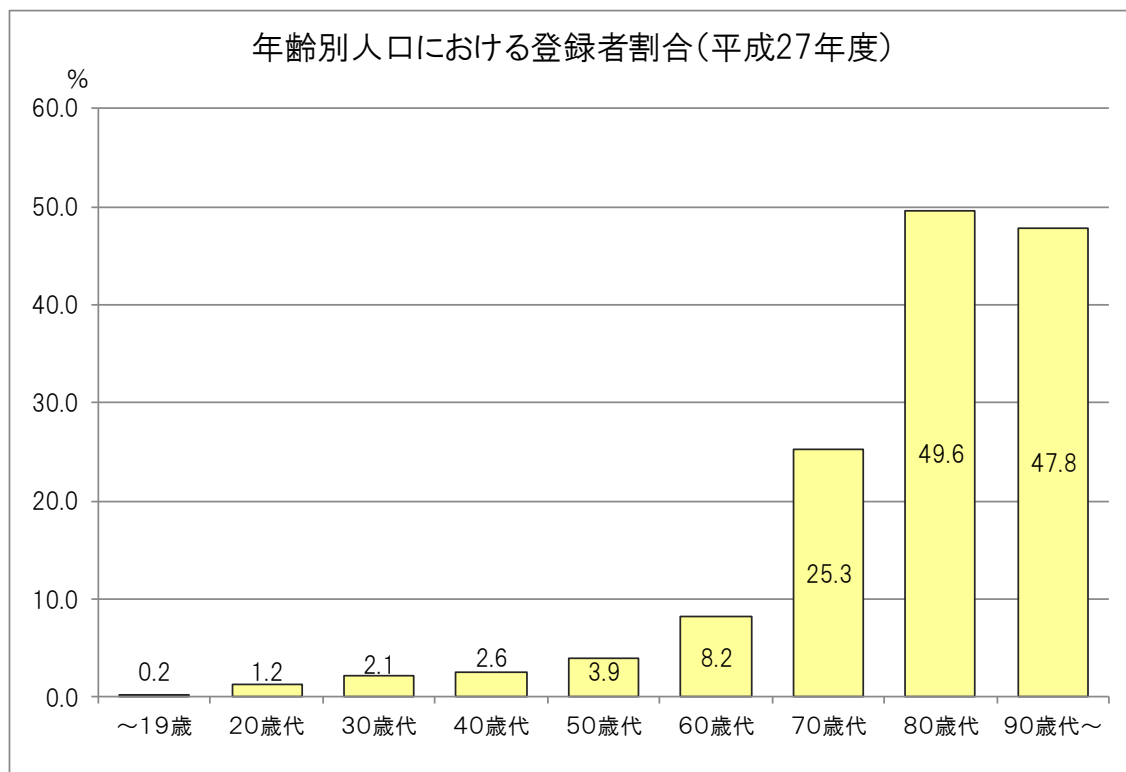
図表 福祉タクシー助成券利用実績(金額及び交付者枚数)の経年比較



	福祉タクシー決算額(円)			交付者数(人)			助成券利用枚数(枚)		
	高齢者	障害者	合計	高齢者	障害者	合計	高齢者	障害者	合計
22年度	10,513,500	6,622,480	17,135,980	919	721	1,640	15,583	11,184	26,767
23年度	11,188,910	6,665,900	17,854,810	845	749	1,594	16,566	11,316	27,882
24年度	10,007,970	7,023,300	17,031,270	893	804	1,697	14,836	11,681	26,517
25年度	10,940,250	6,823,070	17,763,320	950	824	1,774	16,213	11,652	27,865
26年度	10,943,750	7,142,400	18,086,150	976	809	1,785	15,726	11,614	27,340
27年度	11,857,860	7,032,560	18,890,420	1,048	834	1,882	17,052	11,634	28,686

2. いこまいCAR(予約便)及び福祉タクシーの年齢別人口における状況

いこまいCARの登録者と福祉タクシー(高齢者・障害者)のタクシーチケット交付者の合計は、80歳代で年齢別人口の約50%となっており、90歳代以上でも半数近くとなっている。



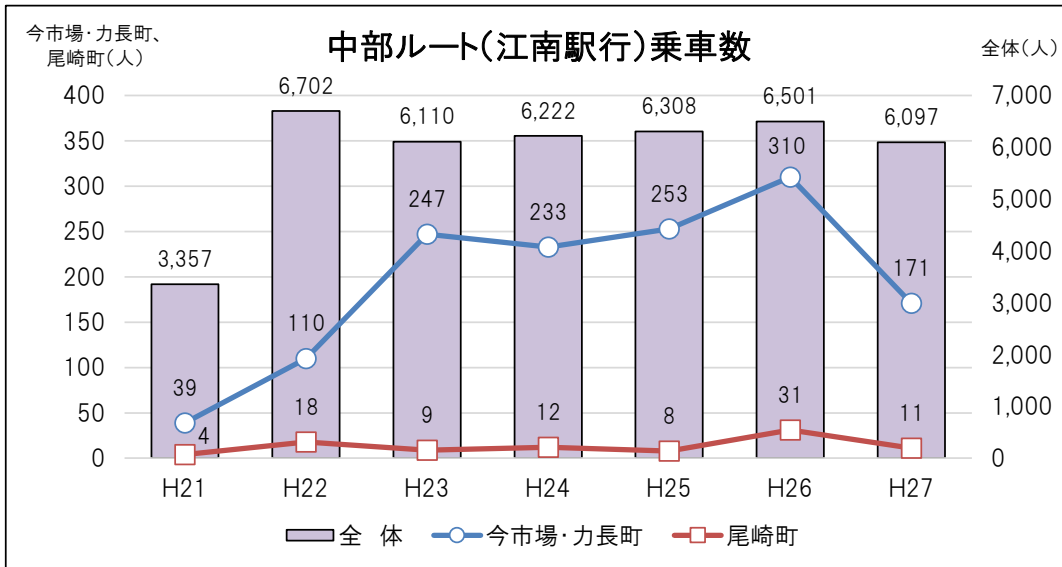
年齢別登録者数・利用者数累計(平成28年3月31日現在)

年代	登録者		登録者割合 (%)	福祉タクシー チケット交付者 (人)	人口 (人)	人口に対する 登録者割合 (%)	タクシーチケット利用 者を含む割合(%)
	(人)	利用者 (人)					
～19歳	15	1	6.7	23	19,081	0.1	0.2
20歳代	105	20	19.0	14	9,668	1.1	1.2
30歳代	229	61	26.6	24	11,793	1.9	2.1
40歳代	367	50	13.6	47	16,103	2.3	2.6
50歳代	407	81	19.9	66	12,028	3.4	3.9
60歳代	976	274	28.1	147	13,717	7.1	8.2
70歳代	2,786	840	30.2	252	11,989	23.2	25.3
80歳代	1,945	768	39.5	866	5,673	34.3	49.6
90歳代～	44	22	50.0	443	1,018	4.3	47.8
計	6,874	2,117	30.8	1,882	101,070	6.8	8.7
～64歳	1,412	295	20.9	229	74,533	1.9	2.2
65～84歳	4,994	1,381	27.7	468	23,547	21.2	23.2
85歳～	468	441	94.2	1,185	2,990	15.7	55.3
計	6,874	2,117	30.8	1,882	101,070	6.8	8.7

平成28年3月31日現在の人口…101,070人

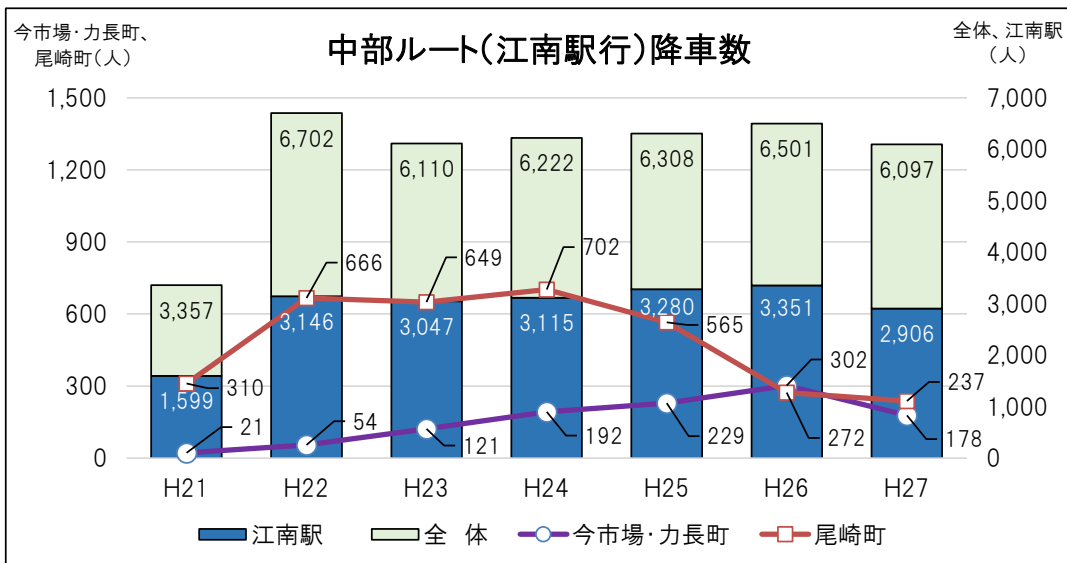
高齢者タクシーチケット利用者数(85歳以上対象)…1,048人(人口に対する利用者割合…35.0%)

3. 大口町コミュニティバス利用状況(平成27年度)



中部ルート 江南駅行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	39	110	247	233	253	310	171
尾崎町	4	18	9	12	8	31	11
江南駅	—	—	—	—	—	—	—
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097

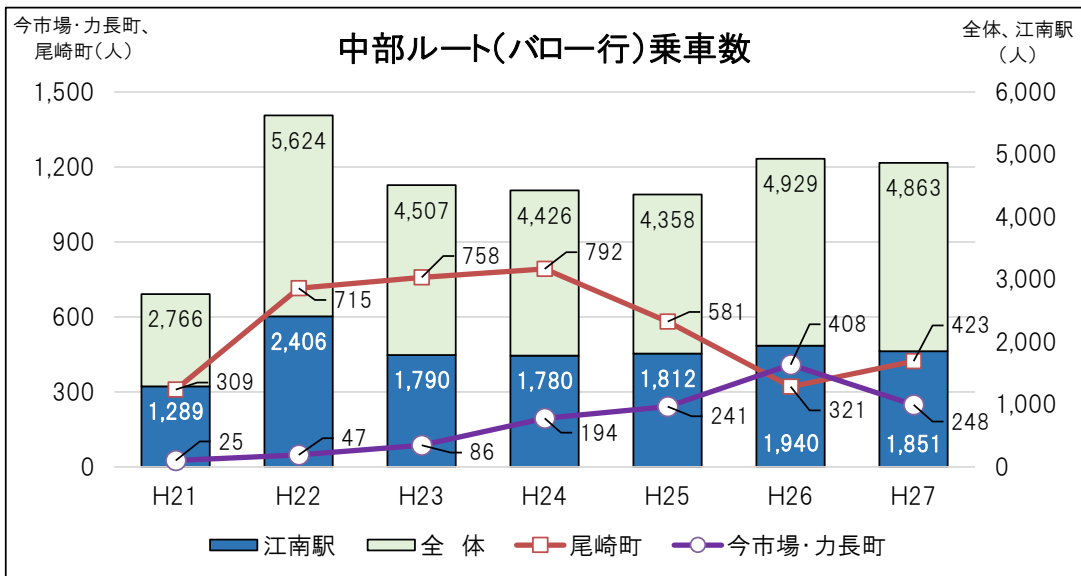


中部ルート 江南駅行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	21	54	121	192	229	302	178
尾崎町	310	666	649	702	565	272	237
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097

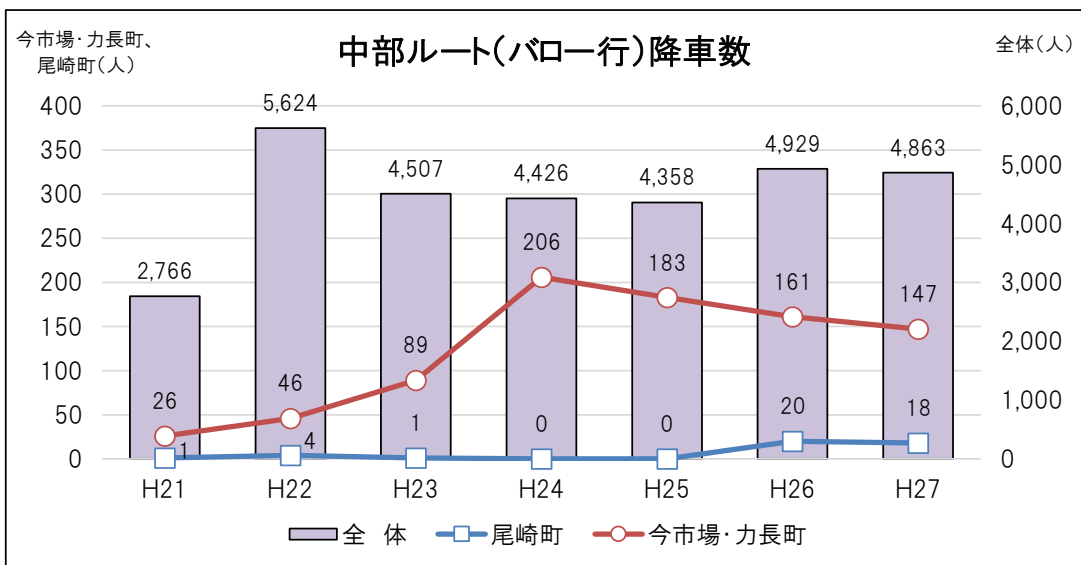
乗降客数合計 中部ルート(江南駅行) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	60	164	368	425	482	612	349
尾崎町	314	684	658	714	573	303	248
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906
計	1,973	3,994	4,073	4,254	4,335	4,266	3,503



中部ルート パロー行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851
尾崎町	309	715	758	792	581	321	423
今市場・力長町	25	47	86	194	241	408	248
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863

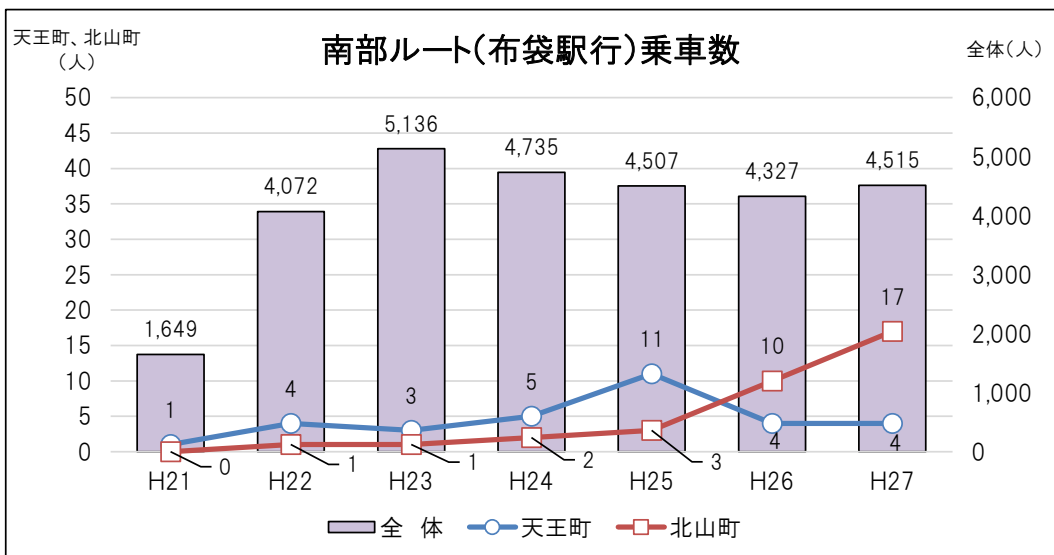


中部ルート パロー行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	—	—	—	—	—	—	—
尾崎町	1	4	1	0	0	20	18
今市場・力長町	26	46	89	206	183	161	147
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863

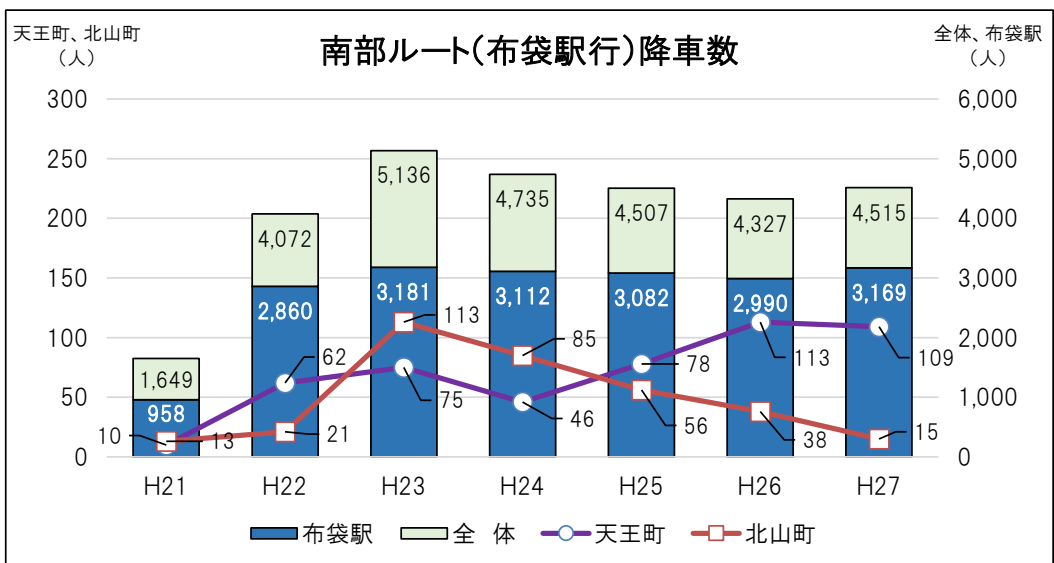
乗降客数合計 中部ルート(パロー行) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851
尾崎町	310	719	759	792	581	341	441
今市場・力長町	51	93	175	400	424	569	395
計	1,650	3,218	2,724	2,972	2,817	2,850	2,687



南部ルート 布袋駅行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	1	4	3	5	11	4	4
北山町	0	1	1	2	3	10	17
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515

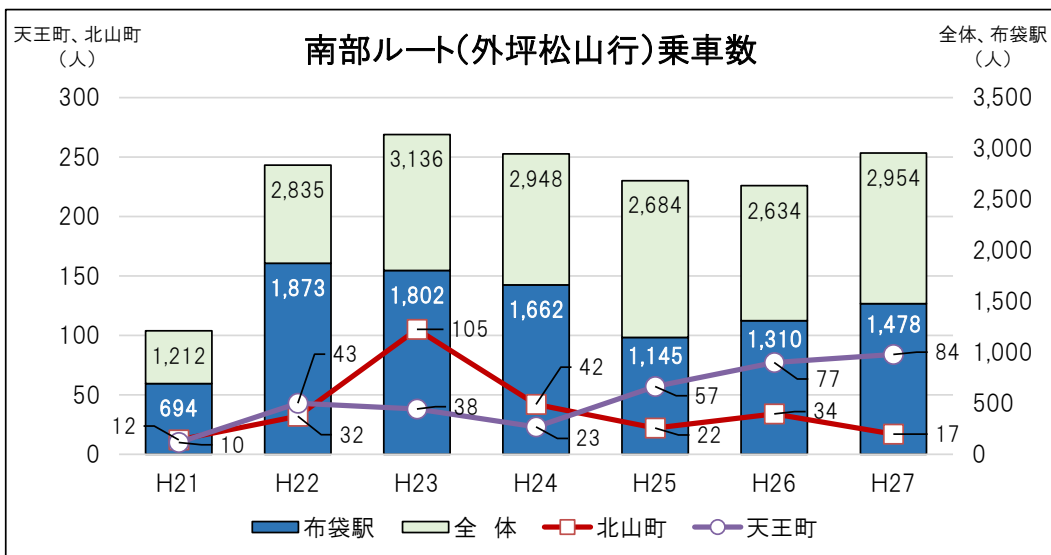


南部ルート 布袋駅行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	10	62	75	46	78	113	109
北山町	13	21	113	85	56	38	15
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515

乗降客数合計 南部ルート(布袋駅行) (単位:人)

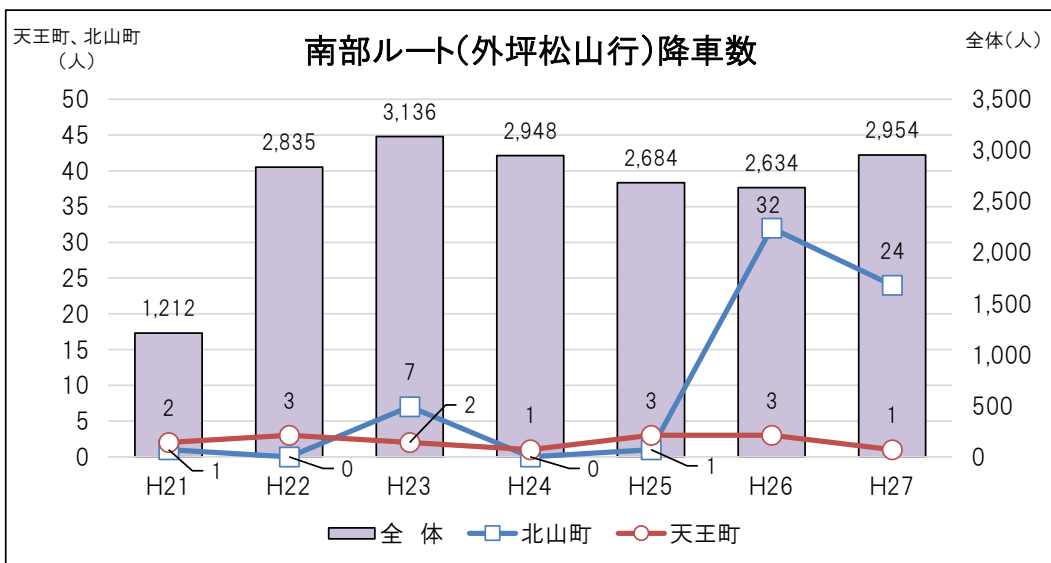
停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	11	66	78	51	89	117	113
北山町	13	22	114	87	59	48	32
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169
計	982	2,948	3,373	3,250	3,230	3,155	3,314



南部ルート 外坪松山行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478
北山町	12	32	105	42	22	34	17
天王町	10	43	38	23	57	77	84
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954



南部ルート 外坪松山行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—
北山町	1	0	7	0	1	32	24
天王町	2	3	2	1	3	3	1
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954

乗降客数合計 南部ルート(外坪松山行)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478
北山町	13	32	112	42	23	66	41
天王町	12	46	40	24	60	80	85
計	719	1,951	1,954	1,728	1,228	1,456	1,604

■ 論点の確認について

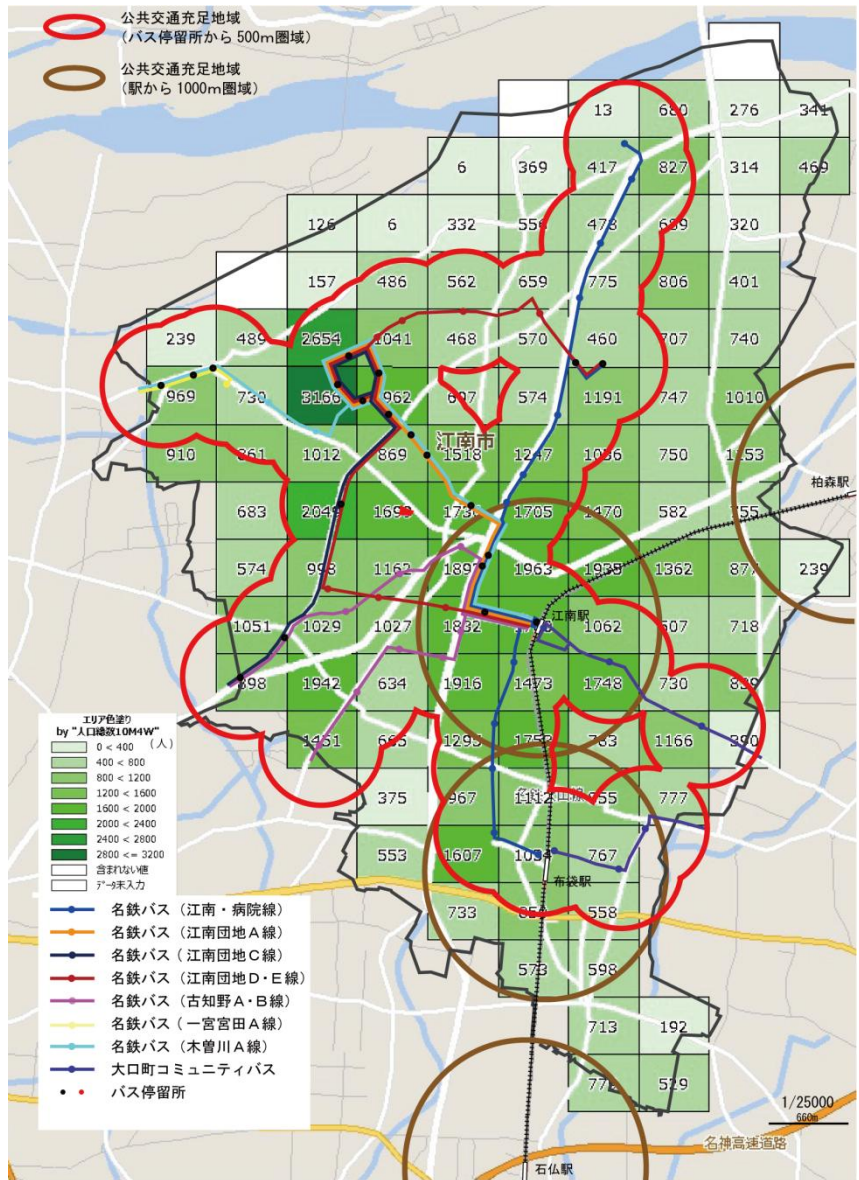
1. 交通空白についての検討

(1) 物理的距離から見た交通空白地について

現況分析結果から、物理的距離から見た交通空白地に居住する人口割合は全体の約21%。

今回の基礎調査では、「交通空白地」を「鉄道駅から半径1km、バスの停留所から半径0.5kmより外側の地域」として分析を行った。

国土交通省では「地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱」において「交通不便地域」を「半径1km以内にバスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港が存しない集落、市街地」と定義しているが、より厳しい条件で交通空白地を設定した。



	公共交通機関 カバーエリア人口	全人口に対する カバー率 (※)
江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径1km、 バス停から半径300mの場合	61,628人	61.8%
江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径1km、 バス停から半径500mの場合	78,531人	78.7%
江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径1km、 バス停から半径1kmの場合	93,092人	93.3%

(※ 母数の江南市人口には平成22年国勢調査時の99,726人を採用)

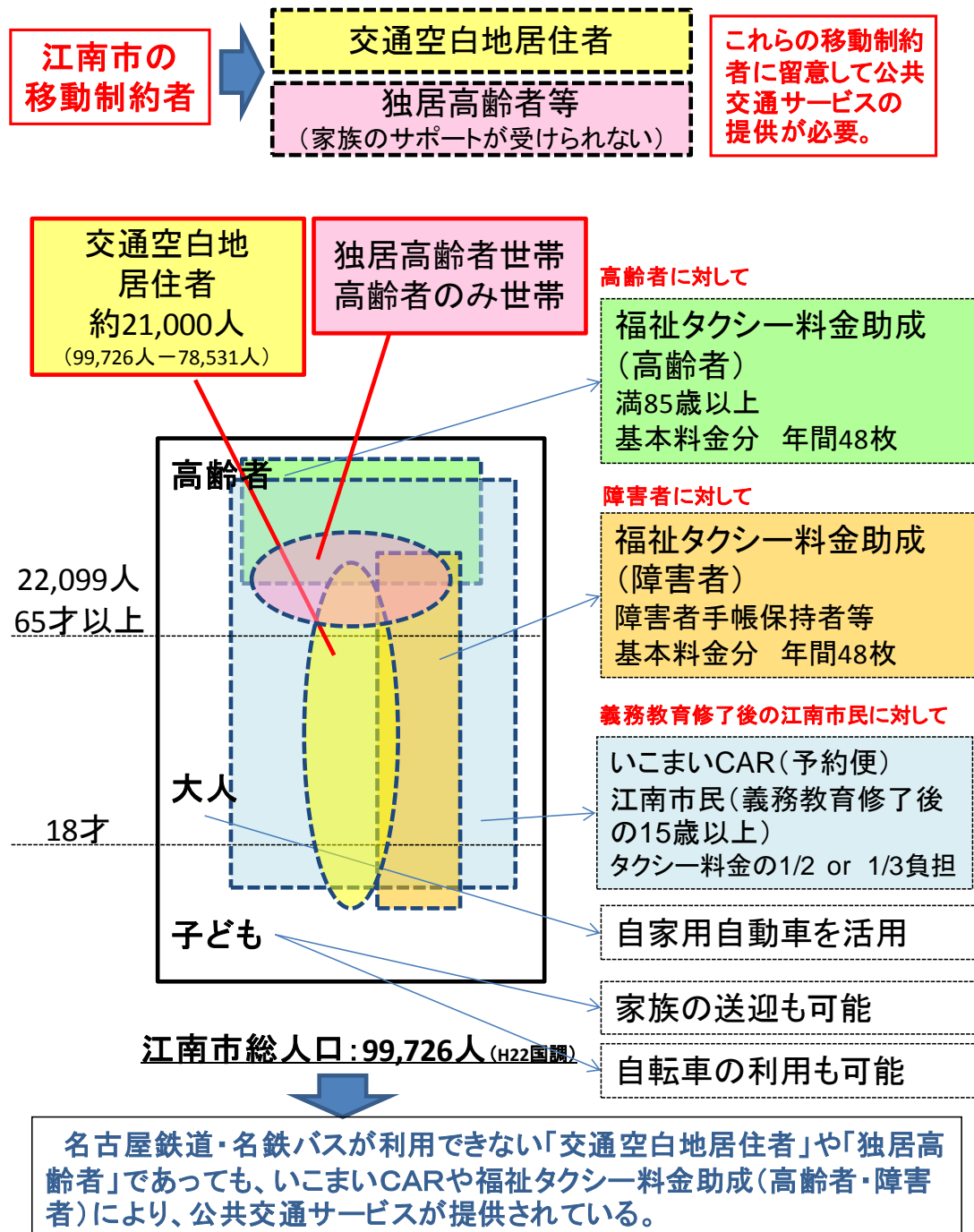
(2) サービスが受けられない移動制約者について

江南市民に対する公共交通サービスの提供状況は以下の通り。

高齢者・障害者等に対しては、福祉タクシー支援制度があり、また、15歳以上（義務教育修了後）の市民には、「いこまいCAR」のサービスが提供されている。

物理的距離から鉄道や路線バスといった交通サービスが受けられない「交通空白地」居住者においてもこうした移動サービスは利用できるため、移動制約者は特に存在していない。

■江南市の交通弱者(移動制約者)の状況について



⇒基本的に、移動制約者(交通空白)は存在しないと考えられる。

2. 財政投入状況についての検討

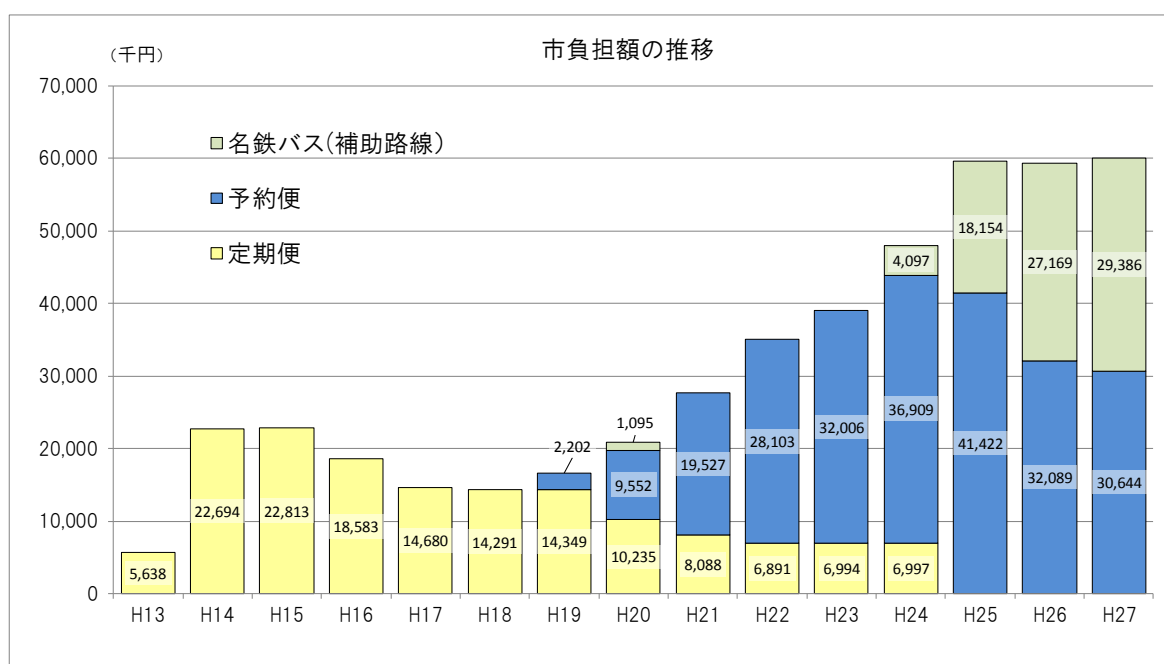
(1) 最近の財政投入状況

○これまでの推移

- ・いこまい CAR と名鉄バス（補助路線）における利用者数と市負担額の推移は以下のとおり。
- ・利用者数、市負担額は概ね増加傾向にある。

市負担額の内訳としては、平成 14 年 1 月からいこまい CAR（定期便）の事業を開始しているため、当初は定期便の負担のみであったが、平成 19 年度の予約便の事業開始後、その比重が転換し、平成 24 年度までいこまい CAR の負担額は増加した。その後、利用料金制度改正により予約便の負担額は減少するが、いこまい CAR（定期便）の廃止に伴う名鉄バス（補助路線）の分割・延長により負担額が大きく増加している。

- ・公共交通の利用拡大に併せて、市の財政負担も増加している。



年度	いこまいCAR						名鉄バス			合計		
	定期便		予約便		全体		利用者数 (人)	市負担額 (円)	一人当たり (円/人)	利用者数 (人)	市負担額 (円)	一人当たり (円/人)
H13	6,940	5,637,840			6,940	5,637,840				6,940	5,637,840	812
H14	33,881	22,694,480			33,881	22,694,480				33,881	22,694,480	670
H15	49,459	22,812,516			49,459	22,812,516				49,459	22,812,516	461
H16	50,869	18,582,872			50,869	18,582,872				50,869	18,582,872	365
H17	49,712	14,680,460			49,712	14,680,460				49,712	14,680,460	295
H18	53,603	14,291,360			53,603	14,291,360				53,603	14,291,360	267
H19	53,570	14,349,400	3,887	2,202,240	57,457	16,551,640				57,457	16,551,640	288
H20	18,289	10,234,530	17,351	9,552,140	35,640	19,786,670	80,092	1,095,000	14	115,732	20,881,670	180
H21	17,124	8,087,980	37,590	19,526,940	54,714	27,614,920	177,121	0	0	231,835	27,614,920	119
H22	17,403	6,890,500	51,348	28,103,170	68,751	34,993,670	165,588	0	0	234,339	34,993,670	149
H23	16,820	6,994,450	54,692	32,006,190	71,512	39,000,640	169,128	0	0	240,640	39,000,640	162
H24	16,112	6,996,680	63,550	36,908,650	79,662	43,905,330	168,616	4,097,000	24	248,278	48,002,330	193
H25			70,911	41,421,510	70,911	41,421,510	363,744	18,154,000	50	434,655	59,575,510	137
H26			67,932	32,088,610	67,932	32,088,610	536,714	27,169,000	51	604,646	59,257,610	98
H27			62,075	30,644,050	62,075	30,644,050	544,576	29,386,000	54	606,651	60,030,050	99

○今後の見通し

- ・江南市の人口見通しとしては、少子高齢化・人口減少が進展し、高齢者数の増に伴い、公共交通の潜在需要は拡大するものと想定される。
 - ・名鉄バス（補助路線）は、現行のサービス水準のままだとすると、利用者数が増加すれば運賃収入も増加するため、市負担額は減少するが、市負担額の大幅な減少は考え難い。
 - ・いこまい CAR（予約便）は、利用者数の増加に応じて市負担額も増加する構造となっている。
- ・公共交通の潜在需要の増加が想定される中では、現状のサービス水準を維持するとしても、名鉄バス（補助路線）及びいこまい CAR（予約便）に対する市負担額は、拡大していくと考えるべきである。

（２）他自治体との比較

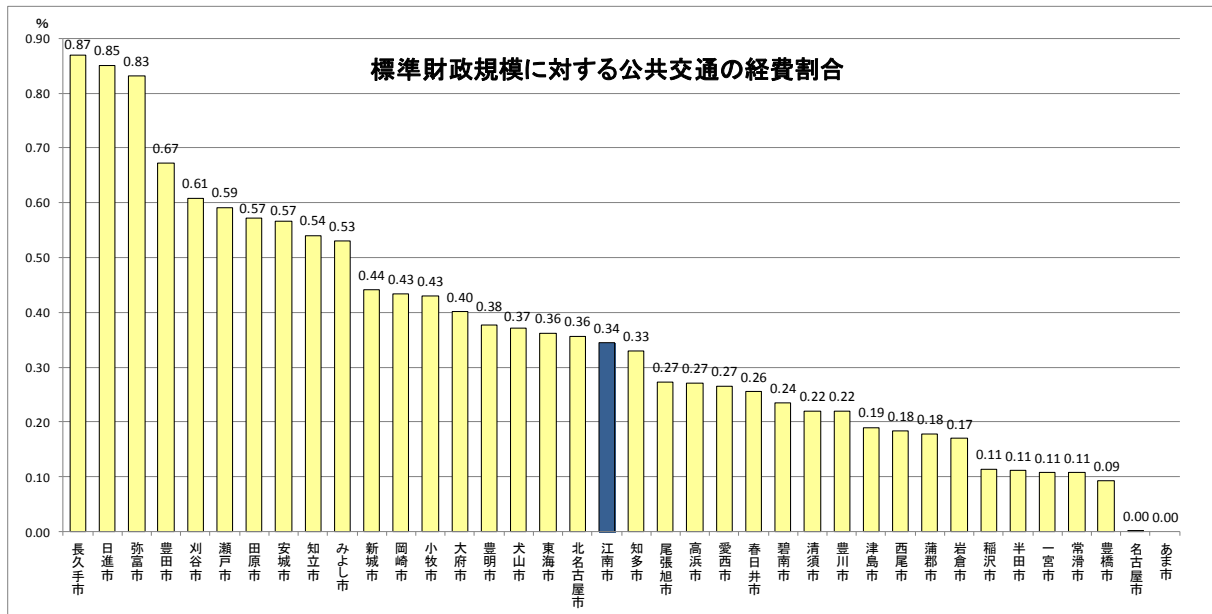
江南市と他自治体との公共交通サービスにおける財政投入状況について比較を行った。

江南市の人口一人当たりのコストは 594 円/人で、全体・全市平均を下回っているが、標準財政規模に対する公共交通の経費の割合はほぼ県内市の平均となっており、他市と比較して、決して低くない額を投入している。

平成26年度県内各市の公共交通の経費

市町村	事業者委託運行 (千円)	市町村有償運行 (千円)	無償運行 (千円)	いこまい CAR (千円)	乗合バス補助 (千円)	合計① (千円)	人口② (人)	標準財政規模③ (千円)	1人あたりのコスト①/② (円/人)	交通負担割合①/③ (%)	コスト順位 (38市)	交通負担割合順位 (38市)
名古屋	6,230					6,230	2,263,894	551,685,973	3	0.00	37	37
豊橋	15,874				51,006	66,880	376,665	72,453,758	178	0.09	36	36
岡崎	75,260				227,187	302,447	372,357	69,749,629	812	0.43	14	12
一宮	62,393				11,344	73,737	378,566	68,603,249	195	0.11	35	34
瀬戸	52,617				83,735	136,352	132,224	23,068,607	1,031	0.59	10	6
半田					27,000	27,000	118,828	24,113,390	227	0.11	34	33
春日井	140,269					140,269	305,569	54,858,151	459	0.26	27	24
豊川	82,577					82,577	181,928	37,567,221	454	0.22	28	27
津島	24,686					24,686	65,258	12,965,483	378	0.19	29	28
碧南			35,347		1,226	36,573	72,018	15,527,224	508	0.24	25	25
刈谷			200,499		16,766	217,265	145,781	35,756,870	1,490	0.61	6	5
豊田	577,909	19,898			47,484	645,291	421,487	95,929,778	1,531	0.67	5	4
安城市	211,326				13,566	224,892	178,691	39,691,797	1,259	0.57	8	8
西尾	39,508				26,926	66,434	106,823	36,063,223	622	0.18	21	29
蒲郡					29,546	29,546	82,249	16,541,371	359	0.18	30	30
犬山市	51,924					51,924	75,198	13,993,993	690	0.37	18	16
常滑			2,178		10,940	13,118	54,858	12,228,763	239	0.11	32	35
江南				32,088	27,169	59,257	99,730	17,227,067	594	0.34	22	19
小牧	129,884				4,275	134,159	147,132	31,222,334	912	0.43	13	13
稲沢	31,758					31,758	136,442	27,772,944	233	0.11	33	32
新城市	8,038	32,511	2,046		22,431	65,026	49,864	14,742,089	1,304	0.44	7	11
東海市	99,854					99,854	107,690	27,547,452	927	0.36	12	17
大府	66,266					66,266	85,249	16,525,980	777	0.40	15	14
知多	26,860				27,296	54,156	84,768	16,459,992	639	0.33	19	20
知立	66,452					66,452	68,398	12,299,081	972	0.54	11	9
尾張旭	38,633					38,633	81,140	14,163,418	476	0.27	26	21
高浜	24,195					24,195	44,027	8,908,934	550	0.27	23	22
岩倉	14,830					14,830	47,340	8,738,352	313	0.17	31	31
豊明	48,166					48,166	69,745	12,781,152	691	0.38	17	15
日進	130,106					130,106	84,237	15,298,401	1,545	0.85	4	2
田原	76,271				26,889	103,160	64,119	18,051,559	1,609	0.57	2	7
愛西			40,474			40,474	64,978	15,215,879	623	0.27	20	23
清須	33,648					33,648	65,757	15,306,467	512	0.22	24	26
北名古屋	56,633					56,633	81,571	15,883,559	694	0.36	16	18
弥富	81,557					81,557	43,272	9,821,496	1,885	0.83	1	3
みよし	66,684					66,684	60,098	12,593,599	1,110	0.53	9	10
あま						0	86,714	17,262,233	0	0.00	38	38
長久手	88,986					88,986	57,038	10,231,148	1,560	0.87	3	1
各市の平均	80,980	26,205	56,109	32,088	17,231	93,222	183,203	39,969,779	766	0.36		

県内市町村における自主運行バス等の運行状況(平成27年5月現在 愛知県振興部交通対策課)より※江南市による独自調査含む
人口はH22年度国勢調査による



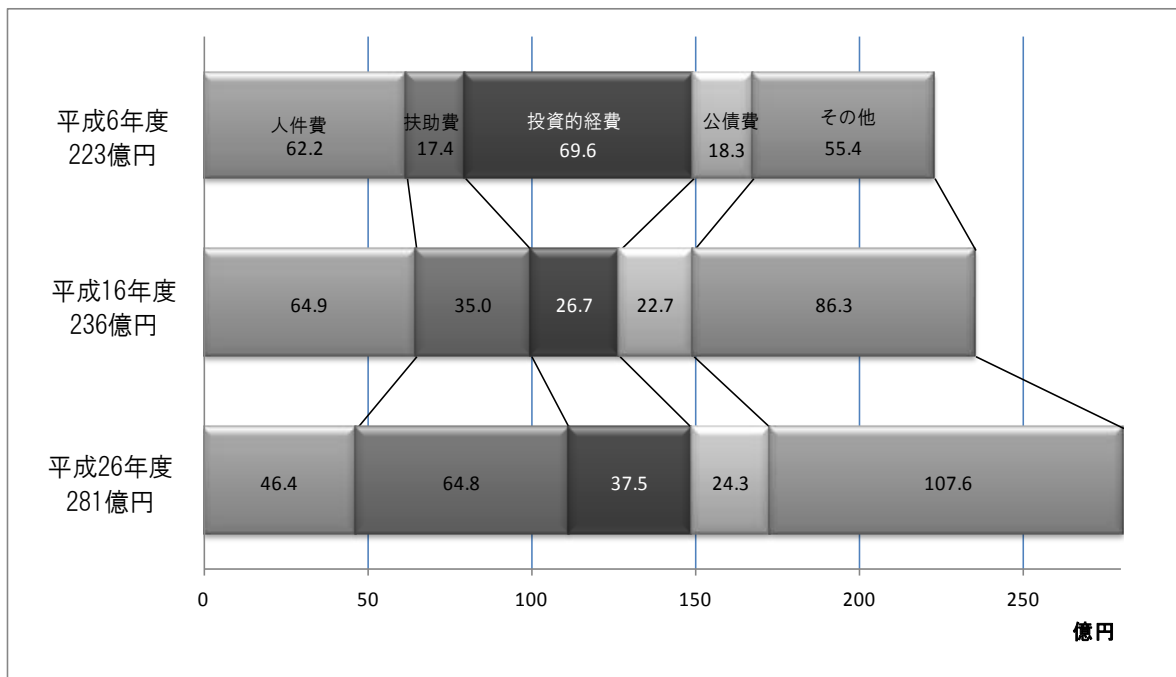
(3) 財政状況について

江南市の財政状況について確認した。

歳出・性質別決算額の推移に示すように、歳出が拡大している中で、扶助費（生活保護等の福祉関係に要する経費）が拡大し、投資的経費（公共事業に要する経費）を抑制せざるを得ない状況となっている。

将来的にも、高齢化の進展で、財政状況はより厳しい状況になると予想される。

歳出・性質別決算額の推移



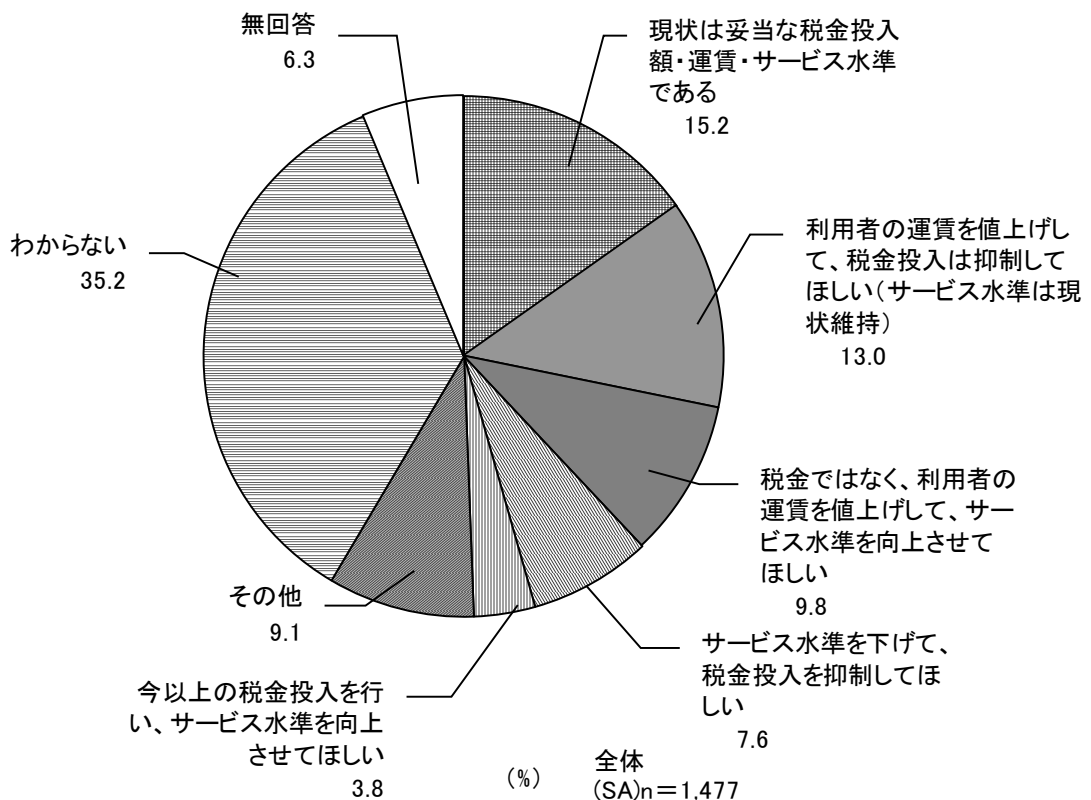
3. アンケート調査にみる住民意向について

～平成25年時点のアンケート調査結果～

○問4-3. 今後の税金投入とサービス水準のあり方

- 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」について確認すると、「わからない」が35.2%と最も多かった。
- 明確な意思表示をした意見を確認すると、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」が15.2%と一番多く、次いで「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービスは現状維持）」が13.0%、「税金ではなく運賃を値上げし、サービス水準を向上させてほしい」が9.8%となった。
- 市民の意向は、「税金投入は維持もしくは抑制」し、「運賃負担で賄うべき」という意向にあると言える。
- 利用の有無による傾向を確認すると、「バス利用者」も「いこまいCAR（予約便）利用者」とともに、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」を選択している割合が高い。
- 居住地別の傾向を確認すると、「今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい」という回答が、市全体の平均値よりも大きく上回ったのは、「布袋（線路東）」・「布袋北」であった。「線路東」地区は、税投入によるサービス向上を求めている。

図表4-3-1 今後の税金投入とサービス水準のあり方



○問4-5. 現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策

○「現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策について」確認すると、「福祉タクシーチケットの配付制度の維持拡充」が42.5%と最も多く、次いで「地域の助け合いの精神で、ボランティアによる送迎する仕組みの導入」が25.9%となった。

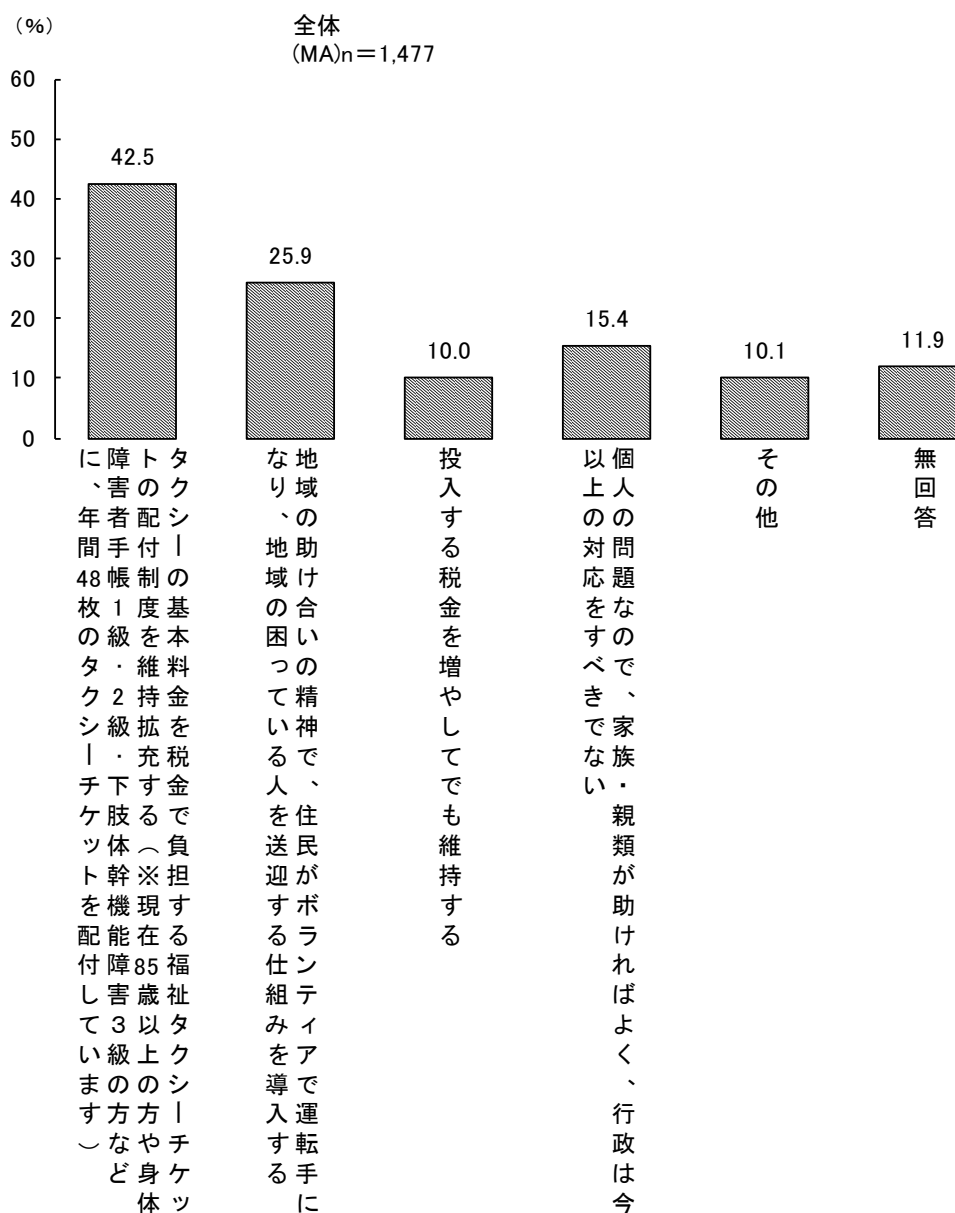
「個人の問題として行政は今以上の対応をすべきでない」が15.4%に対して、10.0%の市民が「投入する税金を増やしてでも維持する」と回答している。

「福祉タクシーチケットの配付制度の維持拡充(42.5%)」も「税金の増加」を容認する意見として捉えると、「税金投入の増加・維持(10.0%)」と合わせて過半数が、税金増加を容認していることになる。

前述の「税金投入額とサービス水準のあり方について」の質問では、市民の意向は「税金投入額は維持もしくは抑制の方向」にあり、矛盾した傾向を示している。

市民の意見は、多数は「税金投入額の維持」で、「抑制か拡大」かについての方向性は明確にならなかった。

図表 4-5-1 現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策



4. 総括（論点確認）

（1）交通空白について

- ・ 鉄道駅やバス停留所からの物理的距離のある「交通空白地」に居住する人口は、江南市民の約 21%となっており、79%はカバーできている。
- ・ 高齢者・障害者等には福祉タクシー支援制度があること、15 歳以上（義務教育修了後）の江南市民には「いこまい CAR（予約便）」のサービスが提供されていることから、「移動制約者」は存在しないと言える。

（2）財政投入状況について

- ・ 公共交通サービスのための財政負担は拡大しており、現状のサービス水準を維持するとしても市負担額は拡大していくと想定される。
- ・ 財政規模に対する公共交通の経費は県内各市と比較しても、決して低くない額を投入している。
- ・ 市の財政見通しは、高齢化の進展により、より厳しい見通しにある。

（3）アンケート調査に見る住民の意向について

- ・ 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」に対する意見は、「わからない」が 35.2%と最も多い。
- ・ 「税投入の抑制」意見は 20.6%、「現状は妥当」が 15.2%、「さらなる税投入」は 3.8%。
- ・ 住民意見は、「税投入の拡大」は望んでいない。

5. 課題

- ・ 地域格差を考慮すべきか（市街化区域・市街化調整区域の差別化等）
- ・ 高齢化の進展に伴う対応をどうするか

■利用者アンケートの調査方法について

主に民間路線バスを対象に、公共交通サービスの利用者に対する満足度等の把握のためのアンケート調査を行う。

当該調査のポイントは、「利用者にとって、満足度の低い路線とその内容」を抽出する。

表 アンケート調査方法（概要）

調査項目	属性（性別、居住地、年齢、職業） 利用状況（乗降バス停、目的、頻度、乗り継ぎ） 満足度（頻度・定時性・ダイヤ・鉄道との接続性）
実施時期	9月頃を想定（夏季休暇時期を除外、交通事業者と調整し設定）
名鉄バス 江南市内路線のみ	○対象路線 ・江南・病院線、江南団地線 ※一宮市をまたぐ広域路線は、支援対象外路線のため調査対象から除外 ○調査員による車内配布、車内・郵送回収 車両の運行が不効率、広域路線の場合は、江南駅等での直接配布方法で対応
大口町コミュニティバス	○江南市民を主に調査するため、市内を通過する車両内で直接配布・郵送回収
いこまい CAR	○調査員の同乗が困難であるため、交通事業者による直接配布・郵送回収

名鉄バス（江南・病院線）の利用者アンケートのご協力をお願い

名鉄バスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、重複する内容がありますが、ご協力をお願いいたします。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. 名鉄バス（江南・病院線）の利用状況についてお伺いします。

(1) 利用されるバス停を教えてください。(乗車・降車すべてに○)

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 布袋駅 | 2. 布袋五明 | 3. 木賀定和 | 4. 木賀本郷 |
| 5. 江南市役所 | 6. 江南駅 | 7. 古知野南小学校前 | 8. 愛栄通 |
| 9. 飛高口 | 10. 野白 | 11. 市民体育会館 | 12. 高屋大松原 |
| 13. 江南厚生病院 | 14. 村久野新開 | 15. 小杵 | 16. 草井 |
| 17. すいとびあ江南 | 18. その他 [| |] |

(2) 本日は、「江南・病院線」以外を利用されますか。

- 往復とも江南・病院線のみ
- 名鉄犬山線に乗り換える
- 他の名鉄バスに乗り換える
- その他 []

(3) 名鉄バスの乗車・降車前後の移動手段を教えてください。

- 自動車 (自分で運転)
- 自動車 (送迎)
- 自転車
- バイク
- 徒歩
- 鉄道
- いこまいCAR
- 大口町コミュニティバス
- その他 []

(4) 名鉄バス「江南・病院線」を利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- ほぼ毎日
- 1週間に2～3日程度
- 1週間に1日程度
- 2週間に1日程度
- 雨の日のみ利用する
- ほとんど乗ることはない

(5) あなたの名鉄バス「江南・病院線」の利用の仕方を教えてください。

- ほとんど同じ便 (同じバス) を利用する。
- 利用はするが、便は決まっていない。
- その他 []

(6) どのような目的で利用されますか。(あてはまるもの^{すべて}に○)

- 通勤
- 通学
- 通院
- 買い物
- 訪問
- 習い事
- 娯楽
- 食事
- その他 []

問2. 名鉄バス（江南・病院線）の運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓地区名を教えてください。地区名は小学校区単位です。）

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東） | 2) 古知野東（線路西） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東） | 5) 古知野南（線路西） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東） | 8) 布袋（線路西） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 一宮市 | 3. 岩倉市 | 4. 犬山市 | 5. 大口町 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|---------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 [] |

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒を活用ください。

問2. 名鉄バス（江南団地線）の運行サービスの満足度を教えてください。(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 大変満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓地区名を教えてください。地区名は小学校区単位です。）

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東） | 2) 古知野東（線路西） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東） | 5) 古知野南（線路西） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東） | 8) 布袋（線路西） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 一宮市 | 3. 岩倉市 | 4. 犬山市 | 5. 大口町 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|----------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 []] |

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒を活用ください。

大口町コミュニティバスの利用者アンケートのご協力をお願い

大口町コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、重複する内容がありますが、ご協力をお願いいたします。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内 (↓地区名を教えてください。地区名は小学校区単位です。)

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東 (線路東) | 2) 古知野東 (線路西) | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南 (線路東) | 5) 古知野南 (線路西) | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋 (線路東) | 8) 布袋 (線路西) | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|----------|--------|--------|--------|
| 2. 大口町 | 3. 一宮市 | 4. 岩倉市 | 5. 犬山市 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他 [| | 市・町・村] | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 []] |

裏面に続きます。

いこまいCAR(予約便)の利用者アンケートのご協力のお願い

いこまいCARをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でご利用される方は、重複する内容がありますが、ご協力をお願いいたします。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. <u>あなた自身</u> についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

○江南市内 (↓地区名を教えてください。地区名は小学校区単位です。)

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東 (線路東) | 2) 古知野東 (線路西) | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南 (線路東) | 5) 古知野南 (線路西) | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋 (線路東) | 8) 布袋 (線路西) | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|-------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 [] |

問2. <u>いこまいCARの利用状況</u> についてお伺いします。

(1) いこまいCARを利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 1週間に2～3日程度 | 3. 1週間に1日程度 |
| 4. 2週間に1日程度 | 5. 雨の日のみ利用する | 6. ほとんど乗ることはない |

(2) どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|-------|-------------------------------|-------|--------|-------|
| 1. 通院 | 2. 買い物 | 3. 訪問 | 4. 習い事 | 5. 娯楽 |
| 6. 食事 | 7. その他 [] | | | |

問3. いこまいCARのサービス内容についてお伺いします。

(1) 以下の利用制限がありますが、これら制限に対する「評価」を教えてください。

(あてはまるもの1つに〇)

項目	解答欄
1) 予約受付時間	予約受付時間は、前日の午前10時～午後7時まで 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
2) 利用時間	利用時間は、午前8時30分～午後5時まで(通院で直接病院から乗車する場合は午後6時) 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
3) 運行区域	運行区域は、江南市内のみ 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
4) 利用目的	通院には利用できますが、通勤・通学・通塾などの定期的利用、業務利用はできません。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
5) 料金設定	一人や友人等との相乗り利用時・・・タクシー運賃の1/2 他の利用客との乗り合い利用時・・・タクシー運賃の1/3 10円未満は切り捨て、最低利用料金は300円。迎車料金は利用者負担。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」、「まだまだ不満」ということについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問4. その他「いこまいCAR」の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒を活用ください。

江南市地域公共交通を語る会（意見交換会）の開催について

1. 目的

現在、地域公共交通の現状把握、バス・いこまい CAR 等の利用の実態等の調査を行い、地域のニーズに合った持続可能な交通サービスの提供を図るため、市の総合的な公共交通体系に関する将来像・方針等について整理・検討するための調査として、江南市地域公共交通基礎調査を実施している。

調査の中で、市内各地における生活行動や公共交通の問題点等を把握し、当該地域における公共交通のあり方等を整理するため意見交換会を実施する。

今回、次の日程で市内 5 中学校区を基本に意見交換会として「江南市地域公共交通を語る会」を実施する。

2. 期日・場所

期 日	時 間	場 所	会議室定員
8 月 20 日(土)	18:30～ 20:00	布袋ふれあい会館 2 階会議室	150 名
21 日(日)	14:00～ 15:30	古知野西公民館 1 階会議室	90 名
25 日(木)	18:30～ 20:00	中央コミュニティ・センター (老人福祉センター) 2 階会議室	75 名
31 日(水)		宮田地区学習等供用施設 2 階集会室	100 名
9 月 2 日(金)		古知野北部地区学習等供用施設 2 階集会室(大)	56 名

3. 内容

(1) あいさつ 約 2 分

(2) 江南市の公共交通の現状について 約 15 分

地域公共交通基礎調査において分析した資料を説明。

(3) グループに分かれ意見交換 約 45 分

1 グループ 5～10 人程度に分かれ、意見交換を実施。

テーマ：自己紹介を兼ねて最近の公共交通の利用状況について

公共交通サービスに対する課題について

改善策について

(4) グループ発表 約 15 分

グループで出した意見を発表

(5) 講評 約 5 分

発表された意見について、簡単にまとめる。地域公共交通会議等で参考とすることを伝える。

4. 参加方法

資料等の準備のため、会開催前日までの事前申込制とする。

ただし、当日は申し込みをしていなくても参加可能とする。参加者分析のため、一覧表に下記内容の記載を依頼。

事前申込内容：参加会場、地区（町名まで）、参加予定人数、申込者氏名

当日受付内容：参加者氏名、地区（町名まで）、年齢

5. 周知方法

(1) 広報紙

広報こうなん8月号掲載

(2) 市ホームページ

広報こうなん8月号配布時期に掲載

(3) 江南市地域公共交通会議委員に周知依頼

7月下旬に江南市地域公共交通会議委員（18名）に協力を依頼

8月上旬開催予定の地域公共交通会議の折に案内

(4) 各区長・町総代

広報こうなん7月号と同時配布（6月下旬）により、区長・町総代へ事前に開催を案内

(5) 市議会議員

各議員あて、6月下旬（区長案内時期）に開催案内を配布

(6) 公募委員候補者

地方創生推進課に名簿の閲覧を依頼し、8月上旬に開催案内を郵送

※他にあんしん・安全ネットメール配信、チラシ（別紙）による啓発を予定。

6. 実施体制

統括：市民サービス課長、主幹

事務局：市民サービス課 消費・相談・交通グループ

支援：三菱UFJリサーチ&コンサルティング



江南市地域公共交通を語る会

を開催します！

いこまいCARやバスなど、皆さんは公共交通を利用していますか？

ご自身やご家族のいこまいCAR・バスの利用状況や公共交通に対するご意見、改善案など、地域の公共交通について意見交換会を行います。

今は公共交通を使っていない方でも大歓迎です。地域の皆さんで公共交通について語り合しましょう。

開催日程

期 日	時 間	場 所
8月20日 (土)	午後6時30分～8時	布袋ふれあい会館 会議室
8月21日 (日)	午後2時～3時30分	古知野西公民館 会議室
8月25日 (木)	午後6時30分～8時	中央コミュニティ・センター (老人福祉センター) 会議室
8月31日 (水)		宮田地区学習等供用施設 集会室
9月2日 (金)		古知野北部地区学習等供用施設 集会室(大)

※お車でのご来場はできる限りご遠慮ください

内容

- ・江南市の公共交通の現状について
- ・グループに分かれ意見交換・発表
(テーマ:最近の公共交通の利用状況について、公共交通サービスに対する課題について、改善策について)

対象者 市内在住・在勤・在学の方

申込方法 各開催日の前日までに、参加会場、人数、地区(町名)、申込者氏名を市役所市民サービス課へ(電話、ファクシミリまたはEメール可。様式は任意)。

問合せ

江南市役所市民サービス課

消費・相談・交通グループ

電話：54-1111 (内線225)

FAX：56-5951

Eメール：simin@city.konan.lg.jp

※申し込みをしていなくても当日参加は可能ですが、会場準備の関係上、できるだけ事前に参加会場・人数、地区(町名)をお知らせください。



平成28年7月25日

江南市地域公共交通会議
会長 磯部 友彦様

タウンバスを実現する会
事務局長 岩田 富実雄

要 望 書

平成28年度、江南市は住民代表を加えた新たな「江南市地域公共交通会議」を立ち上げ、「江南市地域公共交通を語る会」を開くことになりました。私たち「タウンバスを実現する会」としても一定の前進と考えています。しかしながら「語る会」の会場を見てみるといわゆる公共交通不便地域での開催はありません。本当に住民の意見を聞くのであればそのような地域での開催を行うべきではないでしょうか。また会議に住民代表が加わったといっても2名に過ぎず、もう少し多くの住民代表を入れるべきでしょう。またこの会議は法定協議会ではないので速やかに法定協議会に移行すべきではないかと考えます。

また「江南市地域公共交通基礎調査」についても実施方針が「交通空白があるのか」が中心で現状を追認することになりかねません。また依然として「財政負担レベル」も前面に出されるなど平成25年7月の調査との重複になりかねません。

私たち「タウンバスを実現する会」は今まで学習会や住民調査、各地の公共交通の視察などを行ってきました。その中で一番強く感じたのは、江南市のようにタクシーだけを地域交通の主力として使っているところはありませんでした。利用料金の問題など地域交通の主力にするのは無理があると思います。その他に「いこまいCAR」の問題点はこの会議の中でも出されています。「いこまいCAR」に頼り切ることなく巡回バスやデマンド交通などを組み合わせた総合的な公共交通網を確立することが必要です。ぜひとも実現する方向で検討して下さい。

今後高齢者人口は増えていきます。歩けない、自転車に乗れない、車に乗れない人たちは買い物難民や通院難民になっていく恐れがあります。5年後、10年後を見据えた公共交通網をぜひ実現して下さい。

以上